

大阪消防

特集 第51回全国消防救助技術大会

- ・令和5年度 救助隊基本技術訓練(火災・救助)
- ・職員の英会話力と
外国人の災害対応力を向上
- ・市民表彰
- ・功績表彰

令和5年

11

No.884

月号

食べて遊んで癒されて、
極楽の殿堂ここにあり！

12F Bee RUSH 難波

11F～5F サウナ&カプセルアムザ

至高の快眠設備！本格派サウナ

展望露天風呂、美泡『萬の湯』

4F スシロー（西日本最大236席）

3F カラオケ BIGECHO・赤から

・さんばち屋・チキチキチキン

2F サイゼリア・カ丸・びっくりドンキー

1F 炭焼笑店陽・水炊きからあげ鳥吾郎

大東洋なんば店 B1 CLUB-D

なんば千日前の
『アムザ 1000』

笑って
見送れ
最終電車！



〒542-0074 大阪市中央区千日前 2-9-17

団体割引適用で割安！

※④を除きます

～消防人生をずっと補償～

いざという時のために！

一般財団法人全国消防協会 職員福利厚生事業

消防職員・消防退職者 のための保険

1

団体割引適用
30%

消防職員傷害保険

傷害総合保険

募集時期 ■ 7月～8月 1月～2月 2月～4月（新採用プラン ※①②のみ）

2

団体割引適用
30%

消防職員医療保険

医療保険基本特約・疾病保険特約・
傷害保険特約セット団体総合保険

3

団体割引適用
30%

弁護のちから

弁護士費用総合補償
特約セット団体総合保険

年間保険料

4

4,000円

救命救急士の
専門業務も補償！

消防職員賠償責任保険

公務員賠償責任保険（消防職員危険担保
特約条項、初期対応費用担保特約条項、迷惑行
為被害対応費用担保特約条項等付帯）

募集時期 ■ 1月～2月 7月～8月

5

消防職員がん保険

団体総合生活保険（がん補償）

募集時期 ■ 1月～2月

団体割引適用
20%

6

消防職員介護保険

団体総合生活保険（介護補償）

募集時期 ■ 1月～2月

団体割引適用
20%

7

消防退職者医療保険

団体総合生活保険（医療補償）

募集時期 ■ 1月～2月

団体割引適用
約40%

こちらは概要のご案内です。各保険の詳細については、パンフレットをご参照ください。取扱商品、各保険の名称や補償内容等は引受保険会社によって異なりますので、ご加入にあたっては、必ず「重要事項等説明書」をよくご確認ください。詳細は約款によりますが、保険の内容等については不明な点等がある場合には、取扱代理店までお問い合わせください。



全国の消防職員・ご家族の皆様とともに
全国消防保険サービス株式会社

一般財団法人 全国消防協会
損害保険取扱代理店



〒102-8119 東京都千代田区麹町1-6-2 麹町一丁目ビル5階 TEL.03-3234-1331(代)

<引受保険会社> 損害保険ジャパン株式会社・東京海上日動火災保険株式会社

SJ22-10841 (2022/11/24)
22-TC07246 (2022年11月作成)

CONTENTS

大阪消防11

表紙：第114回初任教育に係る実科査閲

01：コンテンツ／災害概況	24：We are Rookies!
02：特集 第51回全国消防救助技術大会	26：大阪の消防NEWS
04：【職務】令和5年度救助隊基本技術訓練(火災・救助)	28：救助工作車がかっこえん車
08：【職務】職員の英会話力と外国人の災害対応力を向上	29：防災サプリ
10：ウチはこんな訓練やってます	30：落語DE火の用心
12：正機関員への道	31：市民表彰／救急安心センターおおさかだより
13：ザ安全管理	32：自衛消防隊紹介／女性防火クラブだより
14：コマンドアイ	33：功績表彰
16：震災対策一丁目一番地	36：【職務】令和4年中の規制対象物における火災発生状況(3)
18：救急いろは	38：Another Voice～こちらは指令情報センターです～
20：実録!!調査鑑識	39：九条みなみの昇任試験問題研究所
22：消防士の品格	40：今月の推しの一枚／編集後記
23：UPDATE	

大阪市の災害概況

◎火災概況

	建物火災				小計	車両	船舶	爆発	その他	合計
	全焼	半焼	部分焼	ぼや						
9月中件数	0	3	13	24	40	5	0	0	9	54
令和5年9月末累計	13	14	103	284	414	32	1	3	84	534
令和4年9月末累計	13	15	123	240	391	32	2	1	78	504
累計比較	0	▲1	▲20	44	23	0	▲1	2	6	30

◎救急概況

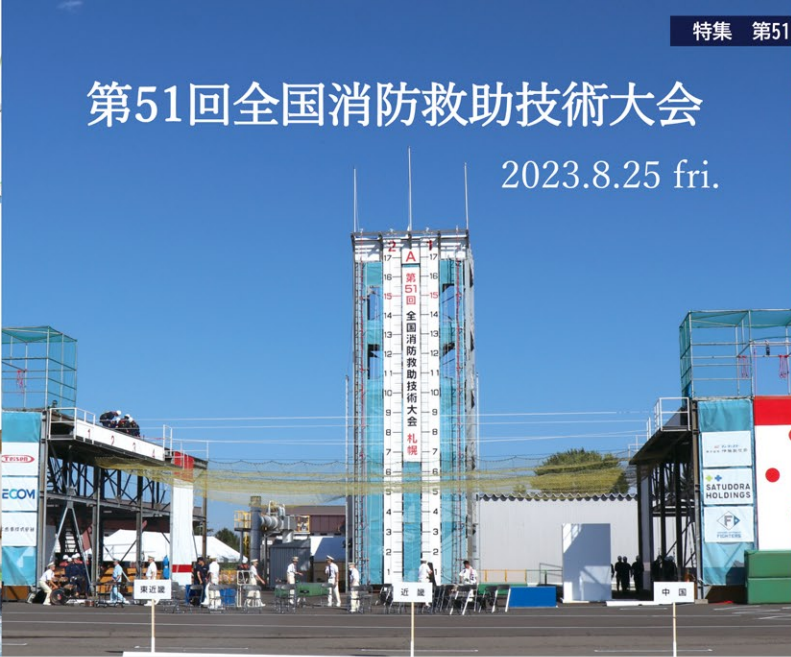
	救急出場
9月中件数(概数)	22,443
令和5年9月末累計	196,999
令和4年9月末累計	181,142
累計比較	15,857

◎火災・救急以外の消防活動概況

	救助活動	危害排除	水防活動	その他の消防活動
令和5年9月末累計	3,317	1,146	10	948
令和4年9月末累計	3,109	923	2	922
累計比較	208	223	8	26

第51回全国消防救助技術大会

2023.8.25 fri.



陸上の部 ロープ応用登はん 第1位



大正消防署 消防司令補
一村 俊介
(現:天王寺消防署)



大正消防署 消防士長
長瀬 彬

長きに渡り、この訓練に携わってくださった皆様にも多大なるご理解とご協力をいただき、訓練に集中することができましたことを感謝いたします。

大阪市の代表選手として8年間強化訓練に参加し、引退をかけて挑んだ大会。過去の先輩方の想いの詰まったゼッケンを受け取った時は、身の引き締まる思いとなつたのを覚えています。

振り返れば、数々の壁にぶつかり、悔し涙を流し、目標を追い求め、それが経験となり、最終的に全国1位という結果に結びつきました。

私自身、8年という歳月をかけてきた最後の登りは、万全の備えで迎え、訓練が終わった後も一切後悔はなく、清々さを感じました。そのうえで結果がついてきたのは本当に良かったです。

この訓練で培ったチームを強く信じるのが、この結果に繋がったと思います。お互いに改善点を素直に共有し、確実に実行していったことが、二人のロープ応用登はんの完成に近づけたのではないかと思います。チームメートには幾度も助けられました。本当に感謝しています。

これからは、携わってくださった方々から学んだように、培ってきたものを、後進に伝承していくことを使命として、取り組んでいきたいと思つています。

ロープ応用登はん訓練において、全国1位になることができました。この結果にはもちろん私自身嬉しかったですが、今まで支えてくださった全ての皆様の良い報告ができ、結果で恩返しできたことがなにより嬉しかったです。また、私とは比べ物にならないほど救助訓練に人生をかけてきた相方の最後の訓練ということもあり、なんとしても有終の美を飾ってほしいと思つていましたので、最高の形での引退に貢献できたことを本当に嬉しく思います。

全国大会の訓練を終えた瞬間はとても清々しいものでした。初めての環境、施設の中で、イレギュラーなことも多々ありました。独特な緊張感があり、様々な感情がこみ上げてくる中で自分たち本来の実力を出し切り、やり切ったと感じることができた瞬間でした。あの瞬間、救助訓練に取り組んできて良かったと心底思えたことを鮮明に覚えています。

最後になりますが、多くの方のご理解とご協力があった私は強化訓練、そして全国大会という貴重な経験をさせていただきました。この経験で得たことは間違いなく私の消防人生の大きな糧となりました。それをこれからの消防人生に活かし、また、後輩に伝承していくことを今後の私の責務として日々励んでまいります。本当にありがとうございました。

全国1位の2名に対して、令和5年9月5日に局長記章「強実章」が授与されました。





西消防署 消防士長
元木 拓郎

はしご登はん

私は、はしご登はんで全国大会に出場しました。全国大会の舞台は様々な消防本部が出演しており、会場の雰囲気や熱気も近畿大会とは桁違いでした。

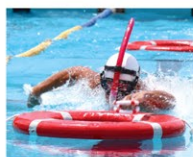
日本一になれる自信はありましたが、全国大会独特の雰囲気に呑まれ、結果は惨敗でした。全国大会を勝てず初めに感じたのは、長期間にわたって支えていただいた皆様や応援してくれた皆様へ返しができなかった悔しいという気持ちです。日本一になって「大阪市消防局の救助」を全国に披露したかったです。訓練が終わった現在も悔しさは変わらず、毎日負けた瞬間を思い出します。自分に足りなかったのは何だったのか。訓練の内容、資器材管理、初めての施設等、原因は無数にあると思います。これは現場活動にも通ずることで、日頃の訓練や資器材の習熟はもちろんのこと、現場は常に違う環境で一発勝負です。訓練と違ったから失敗したと言いつけはできません。現場活動のためにこの救助訓練があることを改めて実感しました。この貴重な経験を無駄にはせず今後活かすとともに、来年また同じ舞台に立ち日本一という結果で返返したいと思います。



都島消防署 消防士長
山村 亮博

溺者搬送 入賞

昨年の近畿地区指導会・全国消防救助技術大会に引き続き、本大会も溺者搬送に出場させていただきました。振り返ると近畿地区指導会では自分の中で「勝って当然」や「勝たなければならない」というプレッシャーが強く、昨年とはまた違った緊張感の中で本番は2位で全国出場という結果でした。悔しい気持ちと全国の舞台に立てた嬉しさがありました。全国訓練ではタイムがなかなか上がらない期間もありましたが、ペアや指導員の方々と0.1秒を詰めるために研究をし、繰り返し訓練をすることで全国一が見えるタイムまで上げることができました。結果としてベストタイムは出せず、日本一も取ることができず、満足のいく結果ではありませんでした。しかし、緊張感のある中で訓練や、要救助者を少しでも早く救出するためにやっていたこの過程というのは今後の消防人生で大きな財産になると思います。この経験を所属ししっかりと持ち帰り、訓練や現場活動さらには後輩育成等に活かしていきたいと思えます。最後に、訓練をするにあたり所属をはじめてくださった皆様へ熱く感謝申し上げます。



水上消防署 消防士長
窪田 琢也

溺者搬送 入賞
複合検索

初めに全国消防救助技術大会という舞台に立ち、己の未熟さを痛感させられました。複合検索、溺者搬送という二種目に出場させて頂き、目標としていた日本一はおろか、複合検索では入賞することもできず、ただただ応援してくれていた仲間への申し訳なさと共に悔しい気持ちしかありません。近畿地区の代表として参加させてもらったのに申し訳ありません。ですがこの五ヶ月間の厳しい救助訓練で培った経験が私の財産になると信じています。0.1秒でも早く、安全確実迅速に救出することを目標に救助訓練に取り組んだ日々は、災害現場で困っている市民の方を救出する為に活きることを確信しています。同じ舞台に立つことは難しいかもしれませんが、もう一度全国消防救助技術大会という舞台に立ち、次は日本一を取れるようにまた精進していきたいと思えます。最後に今回の強化訓練に携わって下さった全ての方に感謝申し上げます。皆さんのおかげでこの舞台に立つことができました。次は悔しさや後悔ではなく喜びの報告ができればと思っています。



水上消防署 消防士長
堀上 寛弥

基本泳法 入賞

初めに、近畿、全国大会と強化訓練をするにあたり、多くの方に支えていただき、応援してもらったこと、自分の知らない所で多くの方が携わっていただいたことに、この場を借りて御礼申し上げます。ありがとうございます。初めの全国大会、結果として入賞で終わることができましたが、準備不足というのが率直な感想です。近畿と全国では施設も違い対策が必要でした。そのため、短い訓練時間の中で、何が何でも何をすべきかを自分で考え訓練を行いました。もっとこうすればよかったと訓練を終えて、たくさん思い返しました。訓練を経験された方々からのアドバイスが無ければ、結果は出ていなかったと思います。

近畿ではイメージできなかった全国制覇。全国に出たことで、より明確に高い高い頂であると感じました。同時に、人として消防人として、まだまだ自分には至らない点が多くあると感じました。目指すべき職員像に少しでも近づけるよう、現場活動、業務に日々邁進していきたいと思えます。



東住吉消防署 消防士長
高瀬 渉

水中結索 入賞

初の近畿地区指導会でも水中結索と水中検索救助に出場し、水中結索で全国へ出場を決めました。目標は「二種目全国出場し、全国一の訓練をする」でしたが、近畿地区指導会で一種目負けしてしまいました。負け理由は、自分のタイムに満足したことです。自分はまだ、小さな世界で戦っていて、全国という大きな世界に目を向けることが出来ていませんでした。来年は一秒でも速く、最後の最後まで欲張りします。

全国大会では、緊張も適度にあり、今まで多くの訓練をしてきたから大丈夫。という自信に満ち溢れ、自分のペースで力を発揮することができました。結果は全国四位で上位は東京消防庁に独占され、また悔しさが残ってしまいました。この悔しさは全国で返すしか晴らせないと考えています。また、この期間で得た知識、技術、強靱なメンタルは市民を助けるためにあると思っていますので、全力で市民の皆様へ貢献します。

最後に、訓練に携わって下さった職員の皆様、ご支援いただいた所属、指導員の方々にわたり本当にありがとうございました。



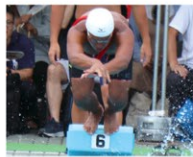
住吉消防署 消防士
長船 勇雅
(現:東成消防署)

水中結索 入賞

第51回全国消防救助技術大会へ出場するにあたり、沢山の方々に支援していただきました。ありがとうございました。

私は水中結索という3人1組で行う競技に参加しました。3人中3人がこの種目挑戦で、訓練開始当初は何をやっても上手くいかず皆で頭を抱えたのを見ています。そんな私達を指導して下さった指導員をはじめ、一緒に訓練してきた隊員達、休みを削って足を運んでくださったOBの方々、本当に沢山の方々ののおかげで初出場にして全国大会出場という結果を残すことができたことと実感しております。そしてなにより一緒に頭を抱えたチームメイトのおかげだと思っています。

この訓練期間で培った沢山のことを、日々の消防業務、災害現場対応で最大限に活かし、市民の期待に応えるべく全力を尽くしたいと思います。



大正消防署 消防士長
松永 将信

水中結索 入賞

まず初めに、今訓練を行うにあたり関係していただいた皆様、ご支援ご協力誠にありがとうございます。2度目の全国大会で、昨年は先輩方とチームを組み出場しましたが、今年はチームリーダーとして出場しました。本番では「絶対に失敗できない、してはいけない」と、そのようなことは思わなくて良いと分かっているのに、頭によぎってしまい、結索をミスしてしまいました。私の弱さです。本番の1発を決められない自分を情けなく感じました。当然、大会が終わってもやり切ったという思いはなかったのですが、今まで救助訓練をされてきた方々から、「負けた人間にしか感じられないこと、得られないこと、伝えられないことがある」との話を聞きました。昨年も日本一は取れず悔しい思いをしましたが、去年の負けと今年の負けは全然感じ方が違い、そう考えると自分自身凄く経験をさせてもらっているのだと感じました。この負けた経験をこれから出場する隊員に伝えること、そして自身が来年同じ舞台に立ち、日本一を取りたいと思います。そのためには、感謝の気持ちを忘れず、市民のために日々精進していきます。

令和5年度 救助隊基本技術訓練(火災・救助)

はじめに

本訓練は、多様な災害現場を想定し、現場活動に必要な不可欠な救助技術を習熟することで、実災害での安全確実かつ迅速な救助活動につながるよう、救助隊員の基本的な災害対応技術の向上を図ることを目的としています。

年間の訓練スケジュール



救助隊訓練の年間スケジュールは、7月後半から8月前半にかけて救助隊基本技術訓練を行い、そこで出た課題や検討事項を巡回研修で伝達し、11月から実施される救助連携応用訓練に繋げていくという流れとなっています。

各訓練ごとに巡回を実施し、訓練の到達目標や大阪市内全救助隊の課題、見本となる動きを共有することで、より訓練の習熟度を深められるような体制としています。

火災基本技術訓練

訓練内容

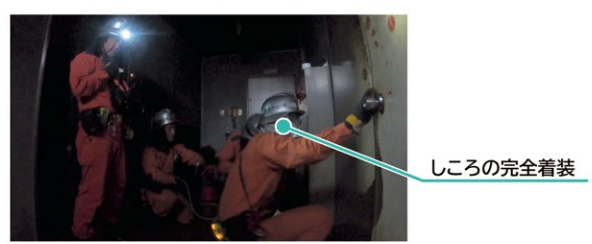
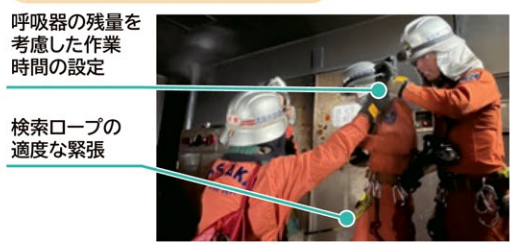
「共同住宅3階1室出火 逃げ遅れあり」との指令により、救助隊1隊で訓練を開始。到着後、男性1名の逃げ遅れと女性1名の行方不明者がいるとの情報を持った関係者と接触。関係者からの情報を基に確保ロープ及び熱画像直視装置を活用し、照明器具の使用を制限した暗中の一室（1LDK+風呂、トイレ）内の検索活動を実施。火点の発見及び逃げ遅れの男性1名を救出後、行方不明者を検索するため、再度室内へ進入。室内の全区画を検索完了後、訓練指揮本部の作戦卓に区画レイアウト、火点及び要救助者の位置を記入。活動内容の報告等を実施し、訓練終了。



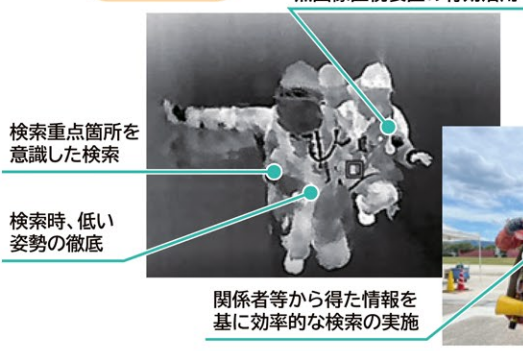
関係者からの情報収集要領、検索要領、検索により把握した区画情報の図面化、火災現場における基本的な技術訓練を実施した。

重点ポイント

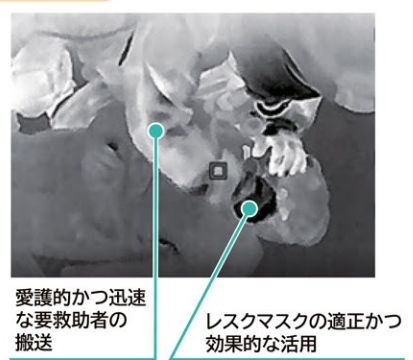
火災現場における安全管理



救出活動時



要救助者対応



救助基本技術訓練

水難事故



訓練内容

「水面に要救助者1名あり、衰弱し何かにつかまっているもの」との指令により、先着救助隊と後着救助隊の2隊で訓練を開始。

岸壁にしがみついている要救助者の男性1名を、救助隊員1名がエントリーし、水難救助操法第3法で確保。要救助者を一時確保し、サーバイバシングで縛着後、はしごクレーン救助操法にて救出。エントリー隊員の地上への脱出完了により、訓練終了。

岸壁等、支持物が少ない環境での自己確保ロープ設定要領、はしごクレーン設定要領及び要救助者の引き込み要領等、水難事故現場における基本的な技術訓練を実施した。

重点ポイント

水難事故における安全管理

水難装備等の確実な着装及び感染防止の徹底

岸壁等における自車両を活用した適切な確保ロープの設定(レストレイントの理解)



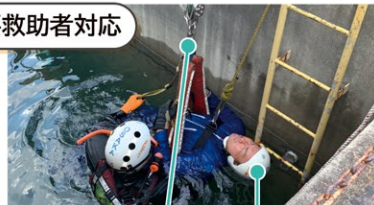
要救助者の位置、状況及び状態の確認並びに声掛け等の措置

救出活動等



水難救助操法を活用した要救助者への迅速なアプローチ技術

要救助者対応



愛護的かつ迅速な要救助者の縛着

水面上における要救助者の呼吸管理

低所事故



訓練内容

「高さ約7mから1名墜落、呼びかけ反応あり」との指令により、先着救助隊と後着救助隊の2隊で訓練を開始。

約7m下へワイヤーはしごや懸垂降下により救助隊員が進入し、仰臥位で倒れている要救助者の男性1名と接触。観察後、救急隊との協議を経て、酸素を投与、バックボードを使用して全身固定しバスケット担架に収容。つるべ式救助操法にて地上へ救出し、訓練終了。

低所への進入要領、墜落による高エネルギー外傷となった要救助者の観察要領、吊り上げ要領等、低所事故現場における基本的な技術訓練を実施した。

重点ポイント

低所事故における安全管理

状況に応じた適切な確保ロープの設定(レストレイントの理解)



墜落静止用器具の確実な着装及び感染防止の徹底

要救助者の確実な観察と活動方針への反映

救出活動等



安全確実な低所への降下要領



要救助者に動揺を与えない適切な救出速度

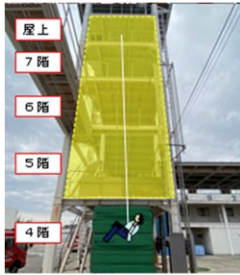
要救助者対応



愛護的かつ迅速な要救助者の縛着

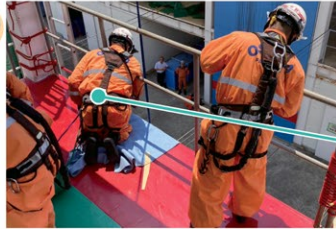
高エネルギー外傷の要救助者に対する適切な処置

高所事故



重点ポイント

高所事故における安全管理



墜落静止用具の確実な装着及び感染防止の徹底

状況に応じた適切な確保ロープの設定(レストレイントの理解)

救出活動等

不安定な状況下における体勢の保持及びアップローチ技術



現場環境を考慮した地物等への支点作成

要救助者対応

迅速な一次確保

愛護的かつ迅速な要救助者の縛着



不安定な状況下における縛着技術

訓練内容

「地下タンク内清掃作業中、作業員1名が倒れた」との指令により、先着救助隊と後着救助隊の2隊で訓練を開始。

地下タンク施設の手前から面体を着装し、環境測定を開始。地下タンク開口部までは、酸素濃度約21%。タンク内部の深さは約3mで、酸素濃度は約14%。面体を着装した救助隊員1名が、既存のタラップを用いて進入し、開口部直下にて仰臥位で倒れている要救助者の男性1名と接触。救助器具にて縛着後、つるべ式救助操法やマンホール救助器具にて地上へ救出、進入隊員の地上への脱出完了をもって、訓練終了。

環境の測定、狭い開口部での進入・救出・脱出要領の他、酸欠が及ぼす人体影響を理解した上での要救助者への対応要領等、酸欠事故現場における基本的な技術訓練を実施した。

酸欠事故



重点ポイント

酸欠事故における安全管理

状況に応じた適切な確保ロープの設定(レストレイントの理解)

継続した環境測定と残圧管理



立坑付近における呼吸管理の徹底

墜落静止用具の確実な装着及び感染防止の徹底

救出活動等



地下ピット等の狭い入り口における進入要領

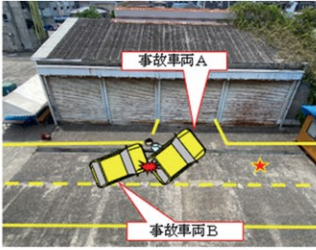
要救助者対応



要救助者の状況に応じた適切な応急処置

愛護的かつ迅速な要救助者の縛着

交通事故



訓練内容

「歩行者 × 車 × 車の交通事故により、1名車両の下敷き。車内閉じこめなし」との指令により、先着救助隊と後着救助隊の2隊で訓練を開始。

前方車両が歩行者を巻き込み、後方車両が追突した想定 of 交通事故。事故車両2台の停車措置を行い、前方車両の左後輪に右下肢を挟まれている要救助者の男性1名と接触し観察。救出スペースを確保するため、もう一方の車両を可搬式ウィンチで数m牽引後、空気式救助マットにて挟まれを解放し、車両下からの救出をもって、訓練終了。

二次災害防止措置、車両牽引時の可搬式ウィンチ設定要領、空気式救助マットの設定要領等、交通事故現場における基本的な技術訓練を実施した。

重点ポイント

交通事故における安全管理

二次災害防止措置(エンジンの停止、車輪止め等)の徹底



感染防止の徹底

救出活動等

可搬式ウィンチ設定に伴う車軸等への支持点設定要領



状況に応じたエアジャッキの設定及び配置

要救助者対応

要救助者の確実な観察と活動方針への反映



高エネルギー外傷の要救助者に対する適切な処置

愛護的かつ迅速な要救助者の縛着

おわりに

現在の救助隊員の平均年齢は約30歳、救助経験年数の平均は約4年である。若年層の増加や救助経験年数の減少による知識・技術の低下が懸念されている。

本訓練は、各救助隊に限られた時間の中、より効率的に救助技術を習得できるよう各訓練の重点ポイント、制約事項を整理・周知し、活動の要点をまとめた参考動画を全救助隊に提供することで、より効果的に技術を習得しやすい環境を整えた。

以前に比べ、確実に基本技術の水準が引き上げられ、高水準が標準化されていることから、本訓練を継続し、救助隊員の基本技術向上に貢献できるよう努力していく。

職員の英会話力と外国人の災害対応力を向上 ～合同会社ユー・エス・ジェイと官民連携～

水上消防署

消防業務と英会話

2023年現在、新型コロナウイルスに対する措置が緩和され、外国人観光客数が急速に回復しています。

当署管内には「大阪港」があり、大型客船が停泊する海外の玄関口の一つとなっています。また、企業や専門学校の外国人居住者も多く、火災や救急等で外国人対応をする機会もコロナ前の水準に戻りつつあります。

2025年大阪・関西万博を控え、外国人観光客の一層の増加が見込まれるなか、職員の多くは英会話に苦手意識を持っているのが現状です。そこで、少しでもその苦手意識を払しょくするため、合同会社ユー・エス・ジェイに勤務している管内在住の外国人クルーの皆さんにご協力いただき、英会話実践研修を開催しました。

この取組は、災害時に言葉がコミュニケーションの壁とならないよう、「職員の英会話対応スキル向上」と「地域に住んでいる外国人の災害対応能力向上」を目的に、官民が連携を行い地域防災力の向上を図る、という当署初の試みです。今回はその取組の様子をご紹介します。

基礎研修とデモ練習

英会話基礎研修のようす



日本語作成
アプリ等で翻訳

ネイティブ
チェック



発音練習
文法学習



発音チェック

徹底的なデモ練習

大半の職員は英会話に自信がなかったものの、相手に伝えたいという姿勢で、何度も発音練習や進行練習に笑顔とジェスチャーで取り組んだ結果、実践研修では、自信を持って大きくハキハキした声で各訓練を進めることができました。研修内容に座学だけではなく、実践的な研修機会を設けたことで、職員の主体的な学びにも繋がり、英語への苦手意識克服にも役立ちました。



英語の壁を
超えました！



伝えたい！



職員側にも
いい刺激に！



伝わったかな？



熱意は伝わる!!



学生の時を
思い出した



発音練習
難しかった～



You can do it!!



ボディランゲージも
大事！



何とか伝える
ことができた



ネイティブが
マスト！



英語習いに
行こうかなあ??



これからは英語
の時代ですね～



伝え方って
大事！

〈研修に参加した職員へのアンケート結果〉

研修前後で、英語に対する苦手意識が改善されましたか

■ はい85.7%

■ いいえ14.3%



英会話実践研修のようす ～ 開催日当日 ～

当日は、通報体験、初期消火、煙中避難、救助体験、応急手当、防災備蓄品の試食等において、消防職員がすべて英語で案内し、基礎研修で培った英会話スキルを発揮できました。外国人クルーにとっても、住んでいる地域の消防職員から直接、防災について指導を受けることで、災害対応に必要な知識や技術を習得する機会となりました。

オープニング	通報訓練	初期消火	避難体験
			
応急手当	防災食品	質疑応答	船艇見学
			

訓練の様子は、大阪市消防局公式インスタグラムから動画でもご覧いただけます。



外国人クルーの感想

- 消防署の方々が広範にわたる深い知識を持ち、日々訓練をされており頼もしかった。
- より多くの人がAEDの講習を受けるべきだし、またこのような機会があれば他の仲間にもすすめたい。
- 部屋に煙が充満したときにこんなにも避難が大変であることを初めて体験できた。
- 防災食がおいしいことに感心した。
- 消防艇の船内に入る経験ができてよかった。
- 今回、学びなおしたことで災害がおこった時の備えができた。
- ロープ登はんで登っていく消防士がかっこよかった。
- このような消防体制があることを知ることができて、非常に心強いと感じた。



各ブースを担当した職員の感想

- 英語の必要性を感じたが、簡単な英語でも伝わるのが分かったし、自信になった
- 苦手意識のある事でも事前準備で改善できることを感じた
- 実際に外国の方と触れ合うことでできる貴重な経験で、双方にとってWIN - WINの催しであったと思う



〔取組を振り返って〕

今回の研修で、消防職員は英会話の基礎研修と実践研修により、英会話への苦手意識が払拭され、「自分の英語が通じた」という成功体験になりました。更に効果的なコミュニケーションを取れるよう、学習意欲が高まる職員もいました。

参加した外国人クルーからも「日本で防災指導を受けることで、災害があっても対応できる自信が生まれた」という声が寄せられ防火や防災を知っていただく良い機会になりました。これは地域に住む外国人の防災力向上につながったといえます。

定期的な訓練の実施や災害現場での安心につながる言葉、外国語の聞き取りなど課題はありますが、今回の交流を通じて消防職員と管内在住の外国人クルーとの距離も近くなり、地域防災力の向上を図ることができました。

今後も語学学習が一過性にならないような研修環境づくりや英語以外の翻訳アプリ活用トレーニングに努めながら引き続き消防訓練や救命講習を通じてお互いの災害対応力を高めあっていきたいと思えます。

突撃取材!

ウチ ●●署は、こんな訓練やってます!

このコーナーは、各署所で実施しているさまざまな訓練の様子を
広報担当が突撃取材!!

「ウチの署は、訓練スペースに限りがあるから…」 「ウチの行政区は
河川が多いから…」など、署所で創意工夫した訓練の様子をお伝え
します!

第27回は、住之江特別救助隊の「災害対応訓練」です!



今回、訓練を紹介してくれるのは
この人!



消防司令補
中西 嶺太

住之江区って?

住之江区は、大阪市の南西部に位置し、北に木津川、南に大和川、西には大阪湾と
3方面が河川又は海に面しています。また、20.61㎢と大阪市で一番面積が広いと
いった特徴があります。

住之江消防署には、住之江特別救助隊と南港救助隊の2隊の救助隊が配置され
ており、また、平林STR小隊も配置されていることから救助任務として災害出場す
る場合は、自署隊でのペアになることが多くあります。このことから、救助事案の連
携訓練を普段から実施し、かつ、管内の特性に応じた訓練を実施しています。

日課訓練

私たちは毎当務火災救助訓練
を実施しています。

理由はいくつかありますが、特
に、火災救助は数ある救助現場の
中でも、緊急性が高く、「今」のタイ
ミングを逃してしまうと状況が一
変し、屋内進入ができなくなっ
てしまう可能性があるためです。

みなさんもこんな経験がない
でしょうか。「理解していたはずな
のに思っていたより時間を要して
しまった。」「わかっていたはずな
のに設定を間違えてしまった。」

このような反省をすることがな
いように応急はしご救助や検索
救助といった基本的な火災救助
訓練を毎日欠かすことなく実施し
ています。

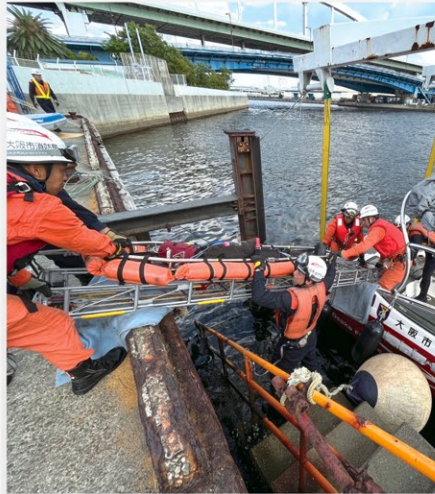


連携訓練

複数隊での訓練も定期的を実施しています。普段から連携を深めることにより、災害現場でのスムーズな活動に繋がります。

大阪市の南西端に位置する南港出張所は海に面しており、実践的な水難救助訓練が実施できます。

また、住之江区は面積が広い分、幹線道路も多いため交通事故の発生件数も多く、例年車両事故に対応した実践的な訓練も実施しています。

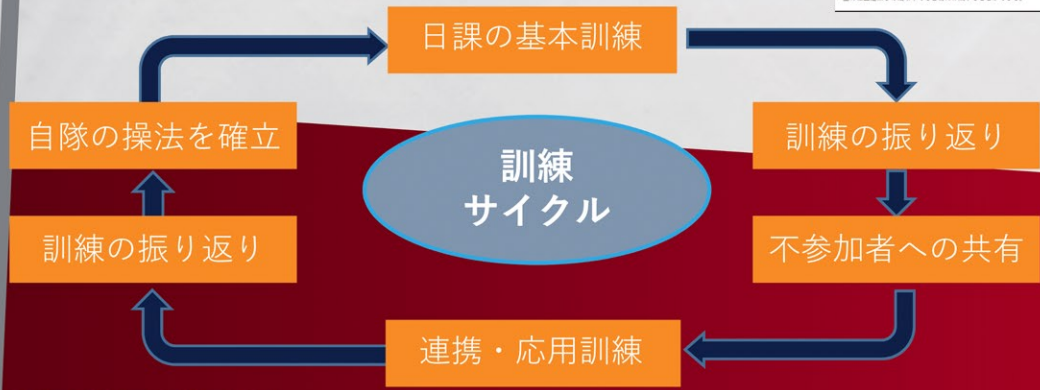


訓練の振り返りと共有

警防担当職員の勤務形態から自隊の隊員が全員出勤することはほとんどありません。そのため、その日実施した訓練内容をどのように休務の隊員に伝えるか。特に、操法が記載されていないような自隊での取り決めについては共有化が必須となります。

住之江特別救助隊では、そんな自隊での取り決めや創意工夫は訓練ノートを作って共有することとしています。

訓練ノート			
実施隊	品名	場所	訓練日
履修日 (バックボード・ビギンズ・バックボード・フルステッド)			
バックボード・ビギンズの振り返り記録書			
<p>振り返り</p> <p>バックボード固定については止脱ワイヤーポイントのバックボード・ビギンズと異なり注意で付す。</p> <p>フルステッドはバックボードに異なり、バックボードに固定されているためフルステッドの構造から異なりで付す。</p> <p>取組訓練に駆動のフルステッドの取組り記録書を作成する。</p> <p>半脱ワイヤー・クランプ</p> <p>※4号のクランプは取組まないように注意する。(マニピュレーターから取組する時は注意が必要である。)</p>			
フルステッド取組 (1) 2021			
フルステッド取組 (2) 2021			
バックボード・フルステッドの取組			
<p>取組については、取組手順書の通り。</p> <p>半脱ワイヤー・クランプ</p> <p>作業品である取組用スリングがない時、120mスリングと90mスリングを組み合わせで代用している。</p>			
フルステッド取組 (3) 2021			
フルステッドの取組			
<p>取組手順に従う。</p> <p>・全特注取組時の取組りでも容易に作成することが出来る。</p>			



おわりに

このように、毎当務実施している基本的な火災救助訓練から複数隊で実施する連携訓練までを行っています。住之江特別救助隊が一番大事にしていることは、どんな訓練でも訓練の振り返りを実施し、休務者へも訓練内容の共有をすることです。それにより、自隊のボトムアップを図り、どんな乗組の日でも困難な災害に対応できる隊をつくりあげることができると考えています。

正機関員への道

災害が発生すれば、いち早く、安全確実に駆け付ける消防車両。鼓動が高まる車中で、常に冷静沈着に運転する『機関員』。そんな消防車両の運転に従事する『機関員』は、日頃からの出場経路の研鑽はもろろんのこと、いち早く現場に駆け付けるまでのこだわりがたくさん！
このコンテンツでは、そんな『機関員ならではの』のこだわりをご紹介します！

こだわり1 〜出場準備編〜

中央消防署道頓堀出張所(以下「道頓堀出張所」という)は、ST車及びA車が各1台配置されていますが、ガレージが大変狭く、両車のサイドミラーをたたまなければ入庫できない状況です。【写真参照】

特に、ST車の周囲は、人が横向きにならなければ通れないほどの幅(約40cm)しかありません。そのため、使用前点検時には乗組員へ次の2点を事前に周知し、迅速に出場できるように備えています。

1点目は、各乗組員の自席ドアまでの動線です。後部隊員は車両の後方から、機関員は車両の前方から自席ドアに向かいます。これを守らない場合、乗組員同士が狭い通路で重なり身動きできなくなるだけでなく、隊員の防火着装等の妨げにもなるので、道頓堀出張所において、動線は肝要です。

2点目は、隊員が乗車しやすいよう車両を庁舎前に小移動することで、所内の停車位置ではスムーズに乗車できる幅がないため、隊員の防火着装等の状況を見つつ、小隊長先導のもと小移動し、隊員の安全な乗車に努めています。



氏名	枝光 大樹	マイソウルフード	ヤクルト1000
所属	中央消防署		
小隊	道頓堀 ST193小隊		
H20. 4	採用		
H20. 10	住吉消防署 消火隊		
H27. 4	東成消防署 特別救助隊		
RO2. 10	中央消防署 消火隊		



こだわり2 〜緊急執行編〜

道頓堀出張所は、ミナミと言われている繁華街や大阪の観光スポット等に囲まれているため、国内外からの旅行者等も多くの人々が集まる場所にあります。そのため、群衆により緊急車両の通行が極めて困難なことが多く、時間帯や場所によっては走行経路を瞬時に見直す必要があります。時間別また場所別に、より良好な走行経路を把握しています。

それでも、週末やイベント時等には、車載マイクや下車先導による警笛等で避譲をお願いしながら群衆をかき分ける運転が必要で、庁舎前の出入庫から神経を尖らせています。

また、周辺の道路は、東西南北にそれぞれ堺筋、御堂筋、千日前通り、長堀通りがあり、どれを選択しても市内の主要な幹線道路で、日夜通行車両が多く危険と隣り合わせです。

このような道頓堀界隈の独特な状況であっても、全乗組員による言い過ぎるほどのコメントやリードライブで四方八方に注意しながら「絶対に事故を起こさない!!」という道頓堀ST機関員としての責務と強い意志を持ち、ハンドルを握っています。



こだわり3 〜一般走行編〜

繁華街は建物の新築や解体、店舗の新規開設や閉鎖が頻繁にあります。また、休日等にはイベント開催が多く、限定的な店舗が現れるのも特徴です。このような街の景色等の変化についても見逃さず、乗組員間で声に出して共有することも、出場時の運転に役立つと考えています。

また、大阪市の真ん中に位置する道頓堀出張所に配置されている消防車両は、国内外の観光者から注目の的であるため、常に見られている(撮られている)意識を持ち、格好良く憧れの存在であるべく、身だしなみや運転態度にも十分気を付けています。



繁華街や群衆の中で交通事故を防止するためには、小隊長が機関員の気持ちを察知することが特に重要と考えます。機関員の次の動きや要望を予想し、欲しそうな情報を伝えたり、懸念事項等を共有することで、機関員のみならず、後部隊員との連携も生まれ、一層の交通事故防止に繋がっています。

小隊長の役割も重要

今月の 交通事故防止基準 器具の活用

消防車を誘導するとき又は他車及び歩行者等の避譲を促すときは、マイク、赤旗、赤色信号燈及び警笛等の器具を活用すること。

機関員に聞く！

日本語が通じず「消防車が通ります」が届かない。中央区には、特に様々な国の人が多く訪れます。道頓堀出張所周辺でも、数種類の外国語が飛び交っており、様々な国からの訪問者を実感しています。文化や感覚も様々なため、車載マイクや警笛等による注意喚起は必須で、英語や中国語等が必要な場合も…。言葉が通じないと思った時は、音や身振り等でお知らせ！←道頓堀の鉄則!!

中央区、ここに注意しーや！



リスクファクターを知る

安全+第一

活動の 不適はないか？

#13

人員の制限 はしご確保の徹底

『13』これは、昨年度災害現場で負傷した隊員の数字です。幸いにも、そのほとんどが命に別状のない事故でしたが、小さな事故をないがしろにすれば、必ず大きな事故に繋がります。昨年に運用を開始した安全管理隊が災害現場で察知した「危険因子」を皆さんに伝え、隊員の皆さんが自らを守るために必要なノウハウを、写真や動画、活動指針を交えてご紹介します。リスクファクターを知ることによって職員負傷『0』の目標を達成させましょう。

*警防活動マニュアル小隊活動編～第14章 安全管理～
【第1節 警防活動時の安全管理】「4 安全対策の基本事項（3）」参照





様々な事案から災害活動を振り返る

北方面隊

高層建物火災での梯子車による救出 事案1

■はじめに

今回から2回にわたり、大阪市内で発生した高層建物火災で、梯子車により要救助者を迅速に救出した2件の事案を紹介する。これらの事案は、高層建物火災での火災救助事案として、大阪市消防局の歴史に残る活動になったといえるだろう。

1件目の本稿では、14階建て共同住宅の6階で発生した火災で、7階ベランダから要救助者1名を梯子車により救出した活動を紹介する。

■災害概況

構造様式
RC造カラーベスト葺14階建共同住宅
(建537m²/延6751m²)
焼損程度
6階A号室(占有80m²)
80m²焼損
7階B号室 内在品若干
焼損及び外壁70m²焼損

覚知時間	13時38分
第1出場	13時38分
災害点東側到着	13時47分
救出開始	13時47分
救出完了	14時03分

■活動内容

梯子小隊は署所で待機している時に他署管内の火災指令を受けた。指令書にて高層建物火災を確認し、梯子車を活用した消火及び救助活動を意識して出場。災害点北東側に到着し、小隊長が燃焼状況を確認すると、6階の南東側のベランダから火災と黒煙が噴出していることを確認した。

北東側は先着していた消防車両が停車し通行困難であったため、小隊長は、機関員に街区を西側から反時計回りに迂回して東側へ転進するように指示。迂回している最中に、無線で「7階に手振りの要救助者有り」との

梯子車停車位置図



情報を得た。東側に到着して7階を確認すると、ベランダで白いたオルを振っている要救助者を発見。直下階である6階ベランダからは、黒煙が噴出している状況であった。小隊長は、機

関員へ直ちに救出に向かう旨を指示し、自己確保をとり、梯子先端に搭乗し救出活動を準備。機関員は救出活動と並行して、消防隊機関員に中継送水の依頼をして、放水体制を整えていた。



要救助者救出中の状況

梯子を伸梯してB号室のベランダへ到着すると、要救助者は黒煙に煽られてパニック状態になっていた。

小隊長が室内を見ると、黒煙が充満しており、消防隊の姿は見えなかった。小隊長は、パニック状態の要救助者を落ち着かせるために声をかけ続け、直下階

のA号室から火炎と黒煙が激しくなってきた中、要救助者に墜落制止用器具を装着し、さらに面体を装着させて呼吸管理を行い、介添えしながら梯子先端に乗り移らせた。

機関員へ、リフター上昇の指示を出していたが、火炎及び黒煙の噴出がさらに激しくなってきた

ため、小隊長はリフターに移動する暇がないと判断し、先端搭乗したままの状態でも梯子を縮梯して地上まで救出することを機関員に指示。縮梯時に要救助者の身体を抱きかかえるように救助し、機関員は要救助者に恐怖心を与えないよう、慎重に操作を行い、地上へ救出した。

■活動のポイント

▼機転を利かした部署位置判断

到着した出火建物前北東側は、到着していた消防車両が停車しており、その位置からの活動は不可能であった。しかし、近隣の道を熟知している梯子小隊は、大型車両でも反時計回りに街区を一周すれば、活動可能な東側道路へ至れることを即座に判断。その判断が功を奏し、要救助者がいる東側へ部署することができた。

▼操作技術

梯子車の操作台からは、黒煙で梯子と建物の接近状況が見えにくい状況で、建物への接触危険があったが、先端搭乗している小隊長と連携を密に安全、確実に架梯した。

▼救出完了の迅速性

要救助者が救助を求めているベランダにも、出火室からの火炎及び黒煙が流れてきており、要

救助者はタオルを鼻と口にあてていたもののパニック状態で一刻を争う状況であった。小隊長は、要救助者に声をかけ続けて落ち着かせながら、墜落制止用器具を確実に装着し、地上へ救出している。

■まとめ

梯子小隊は、救出が遅れば生命に危険を及ぼす極めて危険な状況の中、要救助者の位置、建物の配置状況及び周囲の状況を短時間で見極めて、的確な位置に部署。パニック状態の要救助者を落ち着かせながら、最善の方法で安全、確実に、迅速に救助活動を行っている。さらに、この救出活動は、並行して消防隊に中継送水を依頼し、放水体制も整えながらの活動であった。

今回の現場活動は、昼間帯で大勢の市民が見守る中で実施されたもので、市民の信頼と期待に応え、消防行政に対する信頼を高める見本となるべき活動となった。ぜひ今後の活動の参考にしていたきたい。

次号では、深夜帯に発生した高層建物火災で、要救助者がベランダから身を乗り出している緊迫の状況下での救出活動を紹介する。

震災対策

一丁目一番地

近い将来、発生が予想される、南海トラフ大地震や上町断層帯地震。令和5年度消防局運営方針に掲げる「大規模災害への対応力の強化」は、まさに「消防局一丁目一番地」。
このコーナーでは、市民の皆さまと一丸となって取り組む、各署の震災対策についてご紹介いたします。

震災実務担当者



消防司令補 森 将隆
消防司令補 仁尾 悟士

平野区は大阪市の南東端に位置（北は生野区、西は東住吉区、東は八尾市・東大阪市、南は松原市に隣接）しており、北部は工業地帯、中心部は古い家並と多数の寺社仏閣、南部・南東部には新しい住宅地といった特徴があります。市内第3位の面積を有する区内には各種公営住宅が多数存在し、市内第1位の人口（約18万7千人）を有する区です。

平野消防署



平野消防署 震災対策解説

平野区の被害想定は、上町断層帯地震で震度6弱、全半壊棟数12,884棟、死者数106名、南海トラフ巨大地震では震度6弱、全半壊棟数7,478棟、死者数7名、南部には大和川が流れているもの大阪湾からは遠く離れおり、津波の遡上による被害はないと予想されています。区内は住宅の高層化に伴い人口が増加しており、各種商業施設も進出し市域のベッドタウンとして進展しているという区の特性があります。

想定される災害としては、市営住宅や中高層建物が多く、耐震化はされているものの、高齢化が進行しており、高齢者の独居の割合が多く、家具の下敷きやE.V閉じ込め事案が数多く発生すると予想されます。

また、耐震基準の低かった昭和56年以前の建物や古い木造住宅の密集した狭隘地域も存在しており、水道断水による火災の延焼拡大危険も予測されます。

消防隊の活動障害としては、区内には高架道路（阪神高速・近畿自動車道）や高架鉄道（JRおおさか東線）、路面鉄道（JR大和路線）が通っていることから、橋脚の倒壊や踏切閉鎖による通行障害も想定されます。

これらの想定される地震被害を軽減し、活動障害への対応を図る平野消防署の取組をご紹介します。



震災マニュアル 紹介

平野大隊本部震災活動マニュアルは、消防活動班用・調査班用・補給班用・資料編（各種資料・様式）で構成し、班ごとにマニュアルを編冊しています。

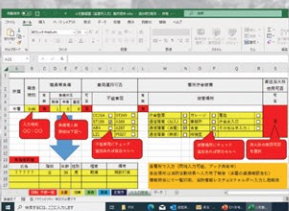
大隊本部運営

大隊本部レイアウトは「初動時」と「参集者強化時」の2パターンを計画し、発災初期は必要最小限の設営で対応することとしています。

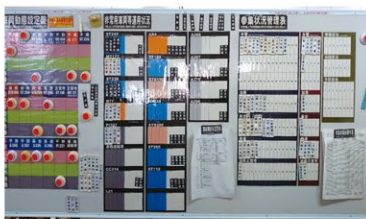
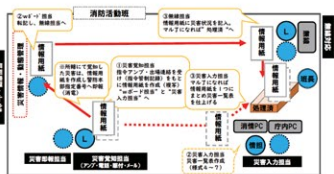


大隊本部の各任務については、任務分担一覧表に「初期」と「参集者強化後」を明記し、ピブスを色分けで着用することで任務を明確にしています。

発災初期は多忙を極めるため各出張所からの初動措置完了連絡については、消防情報システムの指定ファイルに必要事項を入力保存することで大隊本部が随時把握できるようにしています。



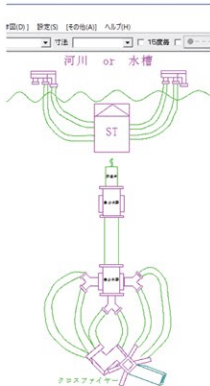
情報伝達用紙の流れは、災害情報の覚知から事案終了までを誰もが大隊本部要員として対応できるよう図で表し掲載しています。



参集職員については、配置札を活用し予備車運用や長期の活動ローターションに備えるため参集者管理ボードを用意しています。

遠距離大量送水システム

本システムを管理している加美正覚寺小隊では、管内で広大な敷地を持つ平野下水処理場の敷地を借用し、経年劣化が危惧されている大口径ホースの確認も兼ねてホース延長訓練を検討。また、MT積載のクロスファイヤーと遠距離大量送水システムを活用し、大規模地震発生時の消火栓使用不可・道路通行不能多数の状況下において、河川にターボポンプを投入し大口径ホースにて3000Lの水を50m先の大規模火災に放水ができないかを模索しています。



可搬式ポンプ

平野消防署では管内の公園・学校等に設置されている可搬式ポンプを地域住民の方と協力し活動するための可搬式ポンプ指揮隊として参集者を派遣します。

管内は広くポンプ庫も多数あり、派遣時は可搬式ポンプ指揮隊に対しポンプ庫の位置を容易に把握できるようにポンプ庫の位置写真や使用水利を明示した活動指示書を作成しています。

活動指示書【大隊本部控】

大倉山寺 可搬式ポンプ指揮隊

活動場所 平野上町1-7-20 (1000 貯水槽)

活動人員	山本 大輔
活動開始時刻	10:00
活動終了時刻	11:00
活動内容	活動場所から400m先まで送水機 4台、使用可能なポンプ庫 (大倉山寺等可搬式ポンプ庫) を確認
活動場所	活動場所から400m先まで送水機 4台、使用可能なポンプ庫 (大倉山寺等可搬式ポンプ庫) を確認

管内に45台ある可搬式ポンプは地域担当再任用職員の大先輩が日々修理レベルの手入れを行い、来たる大災害に備え維持管理に努めてくれています。



遠距離大量送水システムが活用できる水源点や特定密集地域におけるホース延長経路の選定、可搬式ポンプの各水源からの包含範囲図や燃料・貯水槽への補給方法などまだまだ検討課題は山積です。

今後について

近年、大規模自然災害は私たちの想定を超え甚大な被害をもたらしています。これらの想定外を少しでも減らすため、多数の署員を有する平野消防署では現在Team'sのアンケート機能を用いて署員が日々勤務しながら感じている危険箇所や活動障害等を抽出し、対応策を話し合えるよう集約しています。



平野消防署 危険エリアマップの作成【其の一】危険・活動困難箇所の抽出!

震災・風水害 (建物倒壊等) が発生したときに平野管内で危険・活動が困難と予想される場所又は、心配とされることを事前に把握し、それに対する対応策を考えることで、来たる大災害時に状況に応じて危険に対応することを目的に危険エリアマップを作成したいと考えております。つきまして、下記アンケートに回答よろしくお願ひいたします。

抽出したデータは統合GISを用いて地図上に住所データをマッチングさせ管内の危険想定箇所を見える化し、参集時に情報収集するコースとして活用するなど、震災活動時の検討材料にしようと現在作成に取り組んでいます。

局内で3番目に多い署員数160名を有する平野消防署。署員みんなで今後起こるであろう大規模地震災害による被害・活動障害を一つでも多く予測し、備え、想定外ハード面、ソフト面の両面をアップデートしていきます。



救急安心センターおおさかのデータを見てみよう 咬傷・虫刺症

救急安心センターおおさか（以下、「安心センター」という）では、医療相談の際、電話救急医療相談プロトコルを使用して相談を受け、質問した項目を端末に入力してデータを蓄積しています。このデータと通話内容を活用することで各事案の対応の振り返りやプロトコルの妥当性の検証等、様々な分析が可能です。

今回は、その膨大なデータの中から「咬傷・虫刺症」プロトコルに焦点を当て、一年間の相談内容の変化、どのような内容の相談が寄せられているか、生活の中でのようなことに気をつければよいかを見ていきたいと思います。



「咬傷・虫刺症」プロトコルとは

「咬傷・虫刺症」プロトコルは読んで字のごとく、犬などの生き物に咬まれたとき・虫などに刺されたときの相談で使用する外因性のプロトコルの一つです。使用実績は年間※で1676件で、そのうち

救急要請に至ったのが18件、さらにそのうち入院に至ったのは3件でした。
※本記事の検証には、令和4年2月15日から令和5年2月14日までの一年間のデータを使用しています。

では、具体的にどのような生き物に関する相談が多いのでしょうか。下の表は、年間通じて10件以上の相談があった生き物と、その月ごとの相談件数の内訳を表しています。生き物によって季節ごとの差がはつきり出ているものと、年間通じて同じような件数の相談を受けているものがあることが読み取れると思います。それぞれの生き物について、相談内容の特徴を確認していきましょう。

☆哺乳類



哺乳類に関する相談の件数は年間通じてあまり変化せず、咬まれたもしくは引つ掻かれたという相談が多く寄せられます。犬・猫の相談が群を抜いて多いですが、他にもミアキヤット、ウサギ、リス、デグー、ねずみ、はりねずみ、豚、ハムスター、コウモリ、モルモット、ハツカネズミ、サル、イタチ、ハイラックス、フェレット、人間と、非常に多種の動物に起因する相談が寄せられていました。これらの動物の咬傷の特徴としては、受傷した動物の日経ってから傷口が化膿してきたので電話したというケースが多いことが挙げられます。家で飼っている動物であっても傷口が化膿しやすいことには変わりないので、咬まれたり引つ掻かれたりした後にはしっかりと傷口を洗って化膿を防ぐことが重要です。

「咬傷・虫刺症」プロトコルの使用件数と相談の多い生き物の内訳
(令和4年2月15日から令和5年2月14日までの年間相談数を集計)

発生月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	
プロト使用件数	52	45	79	109	164	236	258	209	177	162	108	77	1,676	
うち救急要請	—	1	1	—	2	5	2	3	3	—	—	1	18	
脊椎動物	犬	32	20	34	23	30	20	30	25	19	27	31	29	320
	猫	13	13	12	11	15	12	18	14	14	35	16	17	190
	ヘビ	—	—	—	4	2	2	1	2	4	—	—	—	15
無脊椎動物	ハチ	3	7	18	35	38	69	122	87	65	35	27	25	531
	ムカデ	—	—	1	10	12	14	20	17	18	16	3	—	111
	マダニ	—	—	8	10	31	27	11	9	4	—	3	—	103
	蚊	—	—	—	—	2	3	5	4	2	5	1	—	22
	毛虫	—	—	—	—	—	—	2	—	2	9	—	—	13
クラゲ	—	—	—	—	—	2	2	7	1	—	—	—	12	

☆へび



言わずと知れた有毒の脊椎動物の代表格で、中でも大阪に生息するもので毒性が問題になるのはマムシです。救急搬送・入院に至った事案の一つが8歳の子どもがマムシに咬まれたというものでした。マムシは50〜60cm程度の小型のへびなので気づきにくく、牙も細いため咬まれてもチクッとするだけで、へびに咬まれたと分らず虫刺されと間違ってしまうとされています。マムシ以外ではシマヘビやベッコトのへびに咬まれたという相談もありました。なおへびは変温動物のため冬場は不活発で、相談があったのは気温の高い季節でした。

☆その他の脊椎動物

(鳥類、魚類、両生類、爬虫類)



脊椎動物で10件以上の相談があったのは犬・猫・へびだけでしたが、その他の脊椎動物の相談事例も簡単に紹介します。

- ・鳥類…カラスにつつかれた、というケースが数件。他にトンビ、インコ
- ・魚類…海でエイを踏んだ、アイゴ、オコゼのとげに触った
- ・両生類…子どもがヒキガエルに触った
(ヒキガエルは毒を分泌しており触るとかぶれる)
- ・爬虫類…亀に咬まれた



☆ハチ



「咬傷・虫刺症」プロトコル使用例でもっとも多かったのがハチに関する相談です。ハチ・ムカデ・クモなどはアナフィラキシーを起こす危険性があるので、呼吸器・消化器などに症状が出ていないか特に注意が必要になります。

皮膚に刺された針が残っている場合は指でつまもうとせず爪ではじき飛ばすよう説明していますが、針が残るのはハチの中でもミツバチに刺された場合で、安心センターで受けた相談では事例はあまり多くありません。また死んだハチに触ったら刺された、という相談もあったので、死骸でも直接触らないようにしてください。

☆ムカデ



ムカデは夜行性とされており、家に入ってきたムカデに咬まれた、といった相談があるのは夜間帯が多く、寝ているところを咬まれることもあります。昼間に咬まれたケースでは草むしりをしていたり、こちらから刺激してしまったパターンが多いようです。ムカデ咬傷でも1件、救急搬送から入院に至る事案がありました。

☆マダニ・蚊・毛虫



マダニについては『大阪消防』令和4年5月号の「救急安心センターおおさかだより」で取り上げたのでそちらをご覧ください。蚊・毛虫は他の多くの無脊椎動物と同じく春〜秋にかけて相談があり、毛虫は特に10月に相談が集中しました。

☆クラゲ



海の生き物で唯一ランクインしたのがクラゲです。日本で見られる主な有毒のクラゲ(カツオノエボシ等)の発生時期は春〜夏で、相談があったのも6〜9月のみでした。安心センターに寄せられたクラゲの相談は局所症状のみでしたが、まれに全身症状を起こすケースもありますので、刺されたら気道・呼吸・循環に異常がないか注意が必要です。他に海の生き物に関する相談ではウニを踏んだケースや海毛虫に触ったというケースがありました。

さいごに

安心センターが一年間で受け付けた電話の件数は令和4年で3万7479件にのぼっており、毎日膨大な量の事例が蓄積されています。安心センターに寄せられた相談のような事例は、今後、皆さん自身が体験されるかもしれませんし、救急隊員として対応されるかもしれません。この記事が皆さんの生活や救急活動の一助となることを願っています。

参考文献

- ・堀江 勝博 「有毒動物による刺咬症 毒へび」 『救急医学』vol.45 No.12 (株)へるす出版、2021年
- ・夏秋 優 「有毒動物による刺咬症 有毒節足動物」 『救急医学』vol.45 No.12 (株)へるす出版、2021年
- ・奥山 風太郎 「図鑑 日本のむかで」 (株)太田出版、2023年



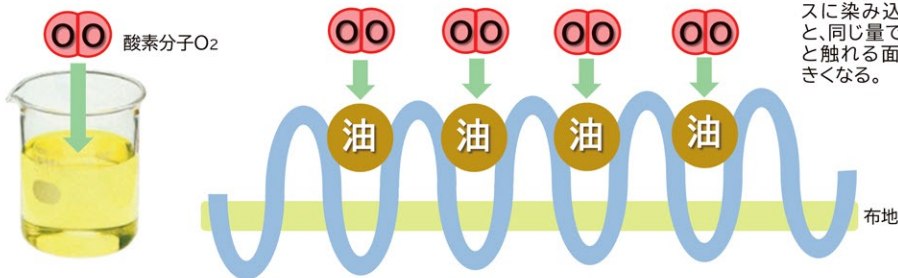
先月号では、酸化が油の自然発火の元になるという話をしたね。物質は、状態変化や化学変化を伴う際、熱を吸収したり、発熱したりするよ。そして、油の酸化反応は、発熱を伴うんだ。

物質が発熱する例としては、「使い捨てカイロ」がありますね。(カイロの中の鉄粉が酸化されて酸化鉄になることを利用している。) つまり、物質の酸化反応は発熱反応ということですね!



Check Point(油の反応表面積)

油の自然発火の元は、油の酸化発熱であり、酸化されやすい = 自然発火しやすい ということであり、油の不飽和度が重要になる。その他にも、酸化されやすいかどうかの要素として「油の反応表面積」がある。酸素に触れる面積が大きいほど酸化速度が早くなるため、油がどのような状態で置かれているかを確認する必要がある。



※油をタオルやウエスに染み込ませると、同じ量でも酸素と触れる面積が大きくなる。

反応表面積が小さく酸化しにくい

反応表面積が大きく酸化しやすい

つまり、不飽和脂肪酸を持った油の反応表面積が増えると油が酸化され、発熱する…これが自然発火のメカニズムということですか?

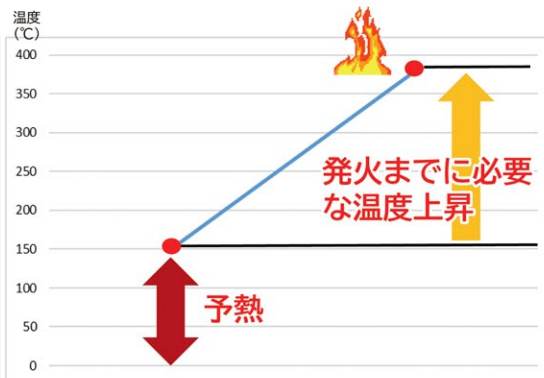
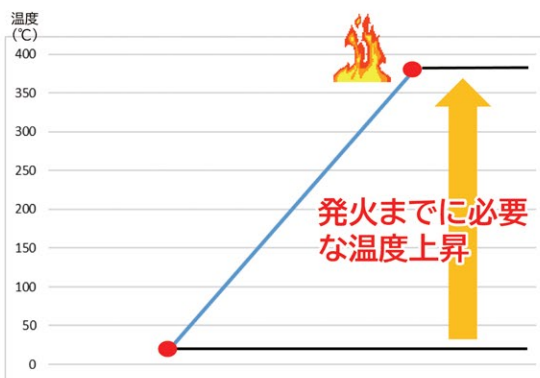


うーん…酸化発熱だけでは、油の発火点まで温度を上昇させるのは難しいんだ。そこで、発火するまでに大事になるのは“予熱”と“蓄熱”なんだ。

Check Point(油の予熱)

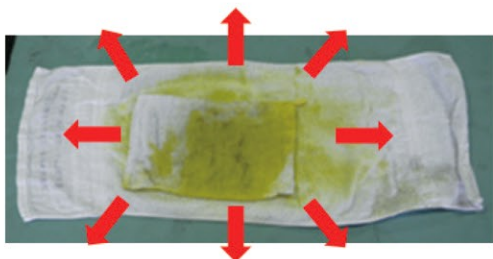
サラダ油を例に考えると、常温からサラダ油の発火点付近までは、350℃近く温度を上げなければならない。しかし、タオルで拭き取った油が高温であったり、拭き取った油を乾燥機で温めたりするなど、予熱がある状態であれば、発火までの温度上昇が小さくなるため、自然発火の可能性を高めることになる。





Check Point(油の蓄熱)

発熱よりも大気中への放熱が勝った状態であると、いくら酸化発熱しても温度は上昇しない。
そこで、**温度上昇には、発熱した熱を蓄積させる環境が必要**となる。



酸化発熱してもそのまま放熱
(温度上昇しない)



蓄熱される環境が自然
発火の可能性を高める



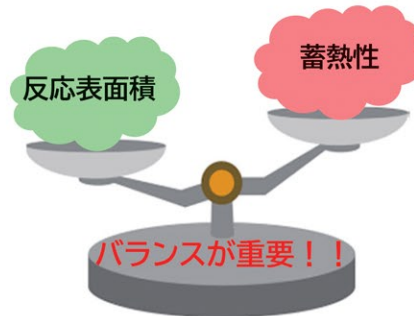
酸化発熱した熱が蓄積される
(温度上昇する)



先月号からの内容をまとめると、
不飽和脂肪酸を持った油の反応表面積が増えると酸化され発熱する…そこに予熱と蓄熱の条件が満たされれば自然発火に至るとい
うことですね！



油の反応表面積が大きすぎると蓄熱要素が
欠けてしまうし、蓄熱要素が大きいと反応
表面積が小さくなり酸化されにくい環境に
なる…要するに自然発火にはこれらの要素
の**バランスが重要**になってくるんだ！



次号へ続く...

消防士の品格 RETURNS

さあ、今回はマナーの代表格とも言える「テーブルマナー」です。ビジネスシーンとは無関係のように思うでしょうが、消防士の品格が疑われる危険は生じます。例えば、結婚披露宴でナプキンで台拭きがわりに使ったり、落としたナイフを拾ったりすればどうでしょう。周囲の方々から「あらやだ…消防士の方ってマナーがなってないのね」なんて思われてしまうかも。消防士たるもの、オンでもオフでも品格を保ちましょう！



三度の飯より飯が好き

第13回 『テーブルマナー』

ポイント

カチャカチャは極力抑えましょう。クチャクチャは論外!!

皆さん、こんにちは。高度専門教育訓練センターの玉木です。食べている途中のナイフとフォークの置き方（八の字に置く）を忘れてしまったので、皿を下げられないよう、食べ終わるまでナイフとフォークを手放せなかったことがあります。笑

ナプキンの使い方

- ・手や口を拭くときに使う。自分のハンカチを使うと「ナプキンが汚いので使えない」のサインになってしまふ。
- ・料理が運ばれる前に二つ折りにして膝の上に置く。タイミングが早いと「早く料理を持ってきて」のサインになってしまふ。
- ・拭いて汚れた部分を他人に見せないよう、内側の面で拭く。
- ・中座するときは椅子の上に、退席するときはテーブルの右側に置く。どちらの場合も無造作にたたむ。きちんとたたむと「美味しくなかった」のサインになってしまふ。

食べ方の注意

- ・カナッペなどは手でつまんでもよい。
- ・スープはスプーンですくって食べる。イギリス式では手前から奥へ、フランス式では奥から手前へすくう。
- ・ライスやパンをフォークで食べる時、イギリス式ではフォークの背に、フランス式では腹に乗せる。
- ・背骨がある魚の場合は上の身を食べた後に背骨を外してから下の身を食べる。裏返さない。
- ・肉は左から一口大に切って食べていく。最初に全部切り分けしない。

おいしーっ!



ナイフとフォークの使い方

- ・外側に置かれているものから順番に使う。
- ・右手でナイフを、左手でフォークを、柄の部分から軽く握って上から人差し指で押さえて持つ。
- ・ライスやパスタなどナイフを使わなくても食べられるときは右手でフォークを持ってよいとされている。そのときナイフは皿の上に置く。
- ・落としても自分で拾わない。スタッフの対応を待つ。

大きな声を出さない!!

・食べている途中にナイフとフォークを置くときは八の字に置く。

この持ち方ダメ!!

・食べ終わってナイフとフォークを置くときは揃えて右下に置く。

ナイフを首からぶら下げない!!

途中



終わり



さて、今回の「テーブルマナー」はいかがでしたか？ナイフとフォークを使う西洋料理のほかにも、箸を使う日本料理や中国料理のテーブルマナーもありますので、注意してくださいね。早速、今日の晩御飯の時に実践してみたいでしょうか。以上、高度専門教育訓練センターの玉木でした！

みなさんは部下育成やチームビルディングでお悩みではないでしょうか？
このコーナーでは日常的に職場で人材育成に取り組むみなさん（リーダー）に部下育成方法や必要なスキル、人材育成に関する豆知識を紹介していきます。
リーダーに必要なことは素質ではなく、学び続けること（アップデート）です！

プレゼンテーション能力とは・・・

英語の「Presentation」には、もともと「提示」や「紹介」といった意味合いがあります。Presentationの語源の「Present(プレゼント)」自体にも「提示する」や「紹介する」などの意味が含まれますが、多くの方が認知しているのは「贈る」、「贈り物をする」などの使い方ではないでしょうか。このように **Presentation は、一方的な説明ではなく「相手に贈る＝相手が理解してくれる」**ことを主眼としたものです。
プレゼンテーションは自分の意見・考えを適切に相手に伝えるために必要なスキルでヒューマンスキルの一つです。

※ヒューマンスキルとは（令和5年2月号参照）

PREP法(プレゼンの代表的な型)



ポイント1 プレゼンは発表ではない

世の中に事柄を伝えることが「発表」です。発表は聞き手のリアクション等は求めておらず、話し手側の一方的な情報発信です。
しかし、「プレゼン」は一方的に自分の言いたいことを伝えるというよりも、相手は何が欲しいのか、どうしたいかを考えて相手に伝える双方向型の伝達手段で、よりコミュニケーションに近いでしょう。

ポイント2 スライドを作ることが目的ではない

プレゼンの目的は、綿密に資料を盛り込んだスライドを作ることではありません。スライドに情報を詰め込みすぎると、一方的な伝達手段になってしまうため「発表」になってしまいます。



プレゼンの話し方



【今月のつばやき】100点満点を相手に求めるから減点方式になる
ゼロから良い部分を見つけることができれば加点方式となる
できないことを責めるより、**できたことを褒めていこう!**

We are rookies



休業まで1ヶ月を切った8月後半から、初任教育生の実科訓練では災害現場を想定した応用訓練を行いました。
今月号では、大阪市消防局高度専門教育訓練センターで行った校外訓練と、救急訓練で行った多数傷病者訓練の様子をご紹介します。

校外訓練

訓練の様子



火災制御訓練棟を使用した「耐火建物火災における検索救助活動」と、移動式模擬家屋を使用した「木造建物火災における延焼阻止並びに主火力制圧のための直近隊及び中継隊の連携」に主眼を置いた2想定の訓練を実施しました。普段とは違う施設で訓練を行ったことで、「いつもまくいっていることがうまくいかない」災害現場の難しさと悔しさを感じた学生が多かったようです。災害現場はほとんどが初めて行く場所です。それでも普段の活動を行えるよう、常に災害現場をイメージして訓練を行ってほしいと思います。

【校外研修を終えて】



初めての環境での訓練でやりにくさや難しさを感じ、よりチームワークの重要性を感じました。実際の現場では、全てが初めての環境での活動になるため、日頃から現場をイメージして隊のチームワークを高めていくことが大切だと学びました。
第2小隊 下小牧学生



校外訓練では、普段と違う訓練環境になり、ミスが増えてしまいました。現場では常に初めての環境で活動を行うので、常に100%の実力を発揮することが出来るように訓練を積み重ねていきます。
第1小隊 佐多学生



多数傷病者訓練

訓練の様子

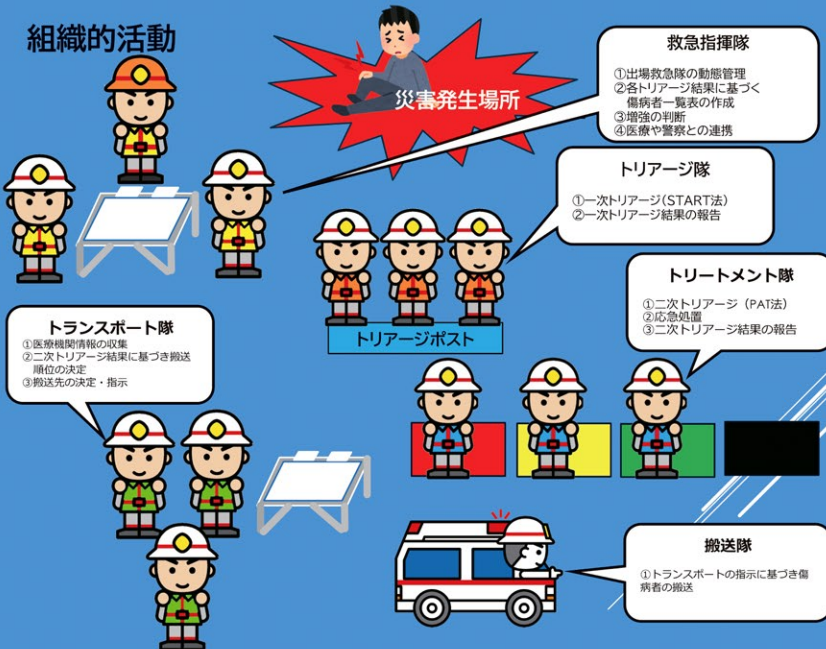


今回の訓練は座学2時間、図上訓練2時間、実動訓練4時間の計8時間の訓練を行いました。実動訓練では、**列車の脱線事故と駅構内での加害事案による集団災害**の2想定を実施し、共に20名の傷病者を対応しました。

この訓練で、集団災害においては**体系的・組織的な活動(CSCATTT)**が最も重要で、特に指揮命令系統の確立が最優先事項であり、指揮者が現場の統制をしっかりとること、また、情報共有の難しさを学びました。同時に、個々の役割をしっかりと果たせば、初任学生でも適切な集団災害対応が出来るという自信にも繋がりました。

忘れた頃にやってくる集団災害。「その時」に最大多数の傷病者を救命出来るよう初任教育においても訓練を重ねてまいります。

組織的活動



【多数傷病者訓練を終えて】

現場を統括する救急指揮隊として、様々なことを考慮しながら活動にあたりました。傷病者数が多い中で救急医療体制が劣勢な状況での活動は想像以上に難しく、トリアージから搬送に至るまでの連携には苦戦しました。

だからこそ、隊員全員が集団災害活動に対し、共通認識を持つことが重要であると感じました。



第4小隊 井上学生



箕面市消防本部

全戸を対象とした住宅防火訪問

箕面市消防本部では、住宅火災による死傷者の低減を目的とし、市内の全世帯を対象とした防火訪問を実施することにより、住宅防火対策を推進するとともに、住宅用火災警報器の設置促進及び維持管理を図っています。

また、救急安心センターおおさかの周知、避難所及び避難行動要支援者の確認、耐震診断の促進、自治会への加入促進といった防災情報や行政情報の提供も行っています。

この訪問は令和3年度に1巡目を終了し、令和4年度から2巡目を開始しています。

2巡目の訪問では、不在宅にQRコードを読み取って、Webでのアンケート回答ができる訪問カードを投函し、より多くの方のご意見をいただけるよう工夫しています。

この防火訪問を継続することで、市民の防火・防災に対する意識を高め、より安全で安心なまちづくりを目指しています。



枚方寝屋川消防組合消防本部

ひらかたパークで 救助訓練を実施しました

「岡田准一」さんが園長を務める「ひらパーク」でおなじみの「ひらかたパーク」。同園の創業は1910年で、営業が創業時から続いている日本最古の遊園地です。夏はプール、秋はイルミネーション、冬はスケートなど、子どもから大人まで一年中楽しめるテーマパークです。

そんな歴史とユーモアのあるテーマパークで、枚方寝屋川消防組合は、昨年12月に同園で発生したアトラクション事故を教訓として、秋の行楽シーズンを前に、アトラクション事故を想定した救助訓練を実施しました。

同園のヘアピンコースターが地上約10mの高所で緊急停車した想定訓練では、パークスタッフと連携し、高所で足場も不安定な場所から安全・確実・迅速に救出する方法を検討しました。

本消防組合は、今後も定期的に企業との連携強化、救助技術や知識の向上を図り、「万が一」に備え、訓練を実施していきます。



岸和田市消防本部
職員デザインの懸垂幕で
継続的な火災予防啓発を！



岸和田市消防本部では、一般社団法人岸和田市火災予防協会のご協力をいただきながら、火災予防啓発のための懸垂幕を作成し、市民の方々が多数利用する市役所への掲出を行っています。

また、毎年秋(9月・10月)に行われる「だんじり祭」の開催時期に合わせて新しいデザインに切り替えることで注目を集めて、市民のみならず多くの方々の火災予防への意識が向上することを期待しています。

懸垂幕のデザインについては、消防職員が各々アイデアを出し合っ、人々の目に留まり、心に残ることを目指して作成していますので、毎年変わるデザインにも注目していただければと思っています。

令和2年度から取り組んでいる本事業を今後も継続的に実施することで火災予防意識の浸透・定着ができるのではと考えており、本事業をはじめとした火災予防啓発運動を積極的に行っていく、安心安全で活気のあるまちづくりのために一丸となって日々の消防業務に努めてまいります。



摂津市消防本部
「路線バス事故対応訓練」を
実施しました

摂津市消防本部では、令和5年8月1日(火)及び2日(水)の2日間、路線バス事故対応訓練を実施しました。

この訓練は、市内に営業所を置くバス事業所に協力いただき、市内を巡回している路線バスに特化した訓練を行いました。

バス会社職員による、車両構造及び事故時の対応についての講義を受けた後、実際の路線バスを使用した、非常用扉開放コックの操作訓練及び車両ジャッキアップ訓練等を実施しました。

訓練を通じて、新型EVバスを含む、バス車両各部の緊急時の操作手順・要領や危険箇所を実車で確認することができ、災害発生時に必要となる、安全で的確な判断のための知識と技術を習得することができました。

今回の訓練内容は組織内で共有を行い、摂津市消防本部全体の災害対応力向上を目指します。

また、多種多様な災害に立ち向かえるよう、今後も様々な訓練をプランニングし、技術の向上に努めます。



堺市消防局

守ります! 大切な街をこれからも



救助工作車(Ⅲ型)

特別高度救助隊
(愛称: フェニックスレスキュー)

シンプルに使いやすく、次世代の隊員の要望や資機材の更新に対応出来るよう、資機材の収納棚の高さを変更出来る仕様とした。
キャビンについては、従来のバス型の活動準備スペースと上記内容を両立出来るようにバスキャブ型を採用している。

車名: 日野 (レンジャー)
通称: 救助工作車(Ⅲ型)
シャーシ型: 2KG-GX2ABA 改
全長: 8,270mm
全幅: 2,380mm
全高: 3,320mm
ホイールベース: 4,290mm
配備年月日: 平成31年2月21日

Phoenix RescueのPとRを用いたロゴがシャッターに大きくあしらわれている



消防車両用語 ② バスキャブ型: キャブの後半分を後方に延長かつ幅を広げ、天井をハイルーフ化した車両のこと

ぼうさい ぷり

今月も、あなたの「防災」の知識や技術を少しアップデートする、栄養の一粒をお届けします。

今月11月5日は『世界津波の日』です。

2015年の国連総会において、毎年11月5日が「世界津波の日」に制定されたのですが、なぜ11月5日なのかご存知でしょうか？



次の①～③のうち正解はどれでしょう

- ① スマトラ島沖地震により、インド洋に面した各国の沿岸部に大津波による甚大な被害をもたらした『インド洋大津波』が2004年の11月5日に発生したため。
- ② 1854年(安政元年)11月5日に和歌山県広川町で起きた大津波の際に、濱口梧陵が稲むらに火をつけることで早期に警報を発し、避難させたことにより村民の命を救い、被災地の復興に尽力した「稲むらの火」の逸話に由来しているため。
- ③ 今から100年前の1923年11月5日に発生した関東大地震で、地震後5分程度で津波が襲来し、津波の高さは静岡県熱海の熱海で12mと当時で世界最大高さの津波を観測したため。

今月のテーマ

11月5日は
世界津波の日

正解は②

①の発生日時は2004年12月26日 ③の発生日時は1923年9月1日(防災の日)

津波の高さについて

近年発生が危惧されている南海トラフ地震発生後、最短で1時間50分で1mを超える津波が大阪市に到達すると想定されています。

1mの津波とはどのくらいの影響があるのでしょうか？

気象庁の資料によると

1983年(昭和58年)日本海中部地震で秋田県沖を震源とするM7.7の地震が発生し、全国で104人の方が亡くなりました。この地震で青森県十三湖河口から逃げる9名が**70cm**の津波に追いつかれ、3名が命を落とされたと記録されています。

1mに満たない高さの津波であっても、命を失う可能性があるのです。

ハザードマップについて

被害を最小限に抑えるため各地域で作成されているハザードマップ。みなさんは勤務場所やご自宅の地域のハザードマップは見たことがあると思いますが、ご実家や大切な方が住んでいる地域のハザードマップは見たことがありますか？

ちなみに

メジャーリーグでご活躍されているダルビッシュ有さんの故郷でもあり、私の実家がある羽曳野市を見てみると…

羽曳野市内を流れる川が大雨によって増水し、堤防が壊れた場合の浸水被害や土砂災害危険が小学校区別で詳しく記載されていました。

それぞれの地域に応じて作成されているハザードマップ。ご自身だけでなく遠方に住んでいる大切な方の命を守る行動の一つとして、『世界津波の日』をきっかけに大切な方が住んでいる場所のハザードマップを大切な方と一緒に見てみてはいかがでしょうか。

参考: 大阪市ハザードマップ



▲各区防災マップ



▲水害ハザードマップ





落語

DE 火の用心



皆さん、こんにちは。今月も、どうぞ、お付き合いを願います。今回ご紹介するのは「千両みかん」というお噺です。

今月のお噺 『千両みかん』

船場の大家の若旦那が原因不明の病にかかります。医者によれば心の病であり、思い悩んでいることが解決すれば病状の方も快復するといえます。恋わずらいかと思いきや、気心の知れた番頭が若旦那に尋ねてみると、みかんが食べたいと言っているので、番頭は「お望みとあれば部屋をみかん詰めにしてでも差し上げます」と請け負ってあちこち駆け回りますが、暑い季節のこと、みかんなんてどこにもありません。最後の頼みで訪ねた天満の青物市場。一軒だけ年中みかんを囲っている問屋があり、蔵を探してもらおうと腐っているかんがひとつだけあった。問屋にみかんが必要ない理由を聞かれ、番頭が若旦那の事を話すが、問屋は銭はいらんと言ってくれたのですが、番頭があまりに強情に「売ってくれ」と言うので、なんと問屋はみかんひとつに千両の値をつけてしまいます…。

*青物は野菜赤物は果物
青果物全般(野菜果物)を取り扱っていた青物市場ですが、厳密に言えば「青物(青もん)」というのは野菜のことを指し、果物は「赤物(赤もん)」と言ったそう。果物屋さんは「赤もん屋」と呼ばれていたそうです。



青物=野菜



赤物=果物



*北区天満三丁目の南天満公園内には天満青物市場跡の石碑が設けられています。



江戸時代、天下の台所と呼ばれた大坂では、堂島の米市場、雑喉場(ざごば)の魚市場、そして、青果物の取り扱いを独占していた天満の青物市場が三大市場としてにぎわっていました。

天満橋北詰から西へ天神橋までの間にあった青物市場では、周辺農村による青物作りの展開と人口増加による需要の拡大により発展し、紀伊・近江・山城その他畿内各地から、小松菜、三葉、セリ、ウコギ、天王寺蕪、壬生菜、河内蓮根、紀州ミカンなどが集まって取引され、大坂の住民が消費する野菜を独占的に供給していたそうです。明治・大正になっても随一の青物市場として栄えていたましたが、昭和6年(1931年)に設立された中央卸売市場に統合され、その後、昭和20年(1945年)に戦災で全焼してしまいました。

プチ上方言葉講座

「ほかす」

【意味】

捨てる・ほうり出す・放す
放下すなど

【使用例】

その服、ほかすんやったら、うちにくれへん?



皆さん。もしもの時の119番通報、慌ててしまって普段は言い馴れている自分の名前や自宅の住所がとっさに言えなくなることもあります。今月の消防落語は「119番通報のポイント」です。いざという時に落ち着いて通報いただけるよう、119番通報時のポイントを楽しくお伝えします。大阪市消防局公式 YouTube には、そなえ亭震災さんによる高座の音源をアップしています。





功績概要

令和5年7月12日(水)午後5時半頃、東京から大阪への出張で東成区の会社を訪れていた平本聖二さんが、帰宅しようと会社を出たところ、焦げくさい臭いと漂う煙に気付きました。「付近で火事かな」と思い周囲を見渡していると、隣の住宅の1階から多量の煙が漂っているのを発見しました。

すぐに会社の消火器を持って住宅の中に入っていくと、燃えている台所で高齢の男女を発見しました。「火事だ！危ない！」と、外に出よう大声で伝え避難をさせ、消火器でこんろから立ちあがった2メートル程の炎を消火しました。

付近は木造住宅が密集している地域で、付近の建物への延焼危険も高い中での避難誘導、初期消火により、火災の被害を最小限に抑えることができました。

平本聖二さんの勇気ある行動と冷静な状況判断に敬意を表して、東成消防署長から感謝状を贈呈させて頂きました。



#7119/ 救急安心センターおおさか だより

発熱外来について

2019年のCOVID-19(新型コロナウイルス感染症)拡大以降、「発熱外来」の情報を知りたいというお問い合わせが増えました。しかし、救急安心センターでは個々の病院の発熱外来の情報までは持ち合わせていないため、「内科(小児科)」の救急病院をご案内して、各病院にお問い合わせいただく形に対応させていただいております。

今回は、その「発熱外来」とは一体どのようなものなのかをお伝えします。

まず、「発熱外来」とは、発熱・咳・鼻水・のどの痛みなどの風邪症状がある方を、通常の診察室とは別のスペースで診察を行い、院内感染を予防する診察方法のことを言います。ただし発熱がなくても風邪症状があるなど、病院側が別室で対応する必要があると判断すれば発熱外来で診察する医療機関もあるそうです。

そもそも、「発熱外来」という考え方は2002年のSARS(重症急性呼吸器症候群)が大流行したことが起源だそうです。COVID-19同様、SARSも感染していれば症状がなくてもウイルス排出があると言われており、「知らぬ間に他人にうつしている」という危険性がありました。そこで、通常の診察と発熱や風邪症状を診察するスペースを分け、診察空間を介した感染症の蔓延を防止しようと考えたのが始まりだそうです。SARSは日本国内での感染者が発生しなかったため、その時点では「発熱外来」について注目を集めることはありませんでしたが、2009年に我が国を含む世界中で新型インフルエンザ(A/H1N1)が感染拡大したこと等により「発熱外来」の考え方が定着し、今日に至ります。

「発熱外来」は症状の元となる原因が感染症なのか、そうではないのかを区別することを目的としている点が一般診察とは大きく異なります。発熱や感染症の症状があらわれたときは医療機関に問い合わせる指示を仰ぐことが第1の行動になります。

なお、発熱時等の受診相談やコロナ陽性判明後の体調急変時は

「大阪府コロナ府民相談センター(TEL: 06-7178-4567)」の窓口でもご相談可能です。ぜひご利用ください。



特別養護老人ホームゆめあまみ

特別養護老人ホームゆめあまみは、東住吉区の南側に位置し、北側を大和川が流れる阿麻美許曾神社の境内にあります。複数のご神木のクスノキが存在感を示し、壮大な緑の開口ーションが広がります。平成15年4月に開設し、創業以来の理念として「5つの笑顔」を掲げ、入所者が笑顔あふれる毎日を過ごすことができるように支援されています。人を思いやる気持ちを持った職員が、より多くの人が幸せになれるように、地域の福祉サービスの増進及び向上に精一杯取り組んでおられます。



東住吉自衛消防協議会では長きにわたり会計理事を務めていただいております。他の自衛消防隊の模範となり年2回の消防訓練はもちろんのこと、要介護レベルの高い入所者を受け入れていることから、施設での火の取り扱いに注意し、絶対に火事を出さない決意で日々の業務に取り組んでおられます。

自衛消防隊紹介

自衛消防隊長
寺本 節子

ゆめあまみは、既定による年2回の防火訓練のみならず、随時、施設内独自で通報訓練・避難訓練を実施しています。大切なご入所者様が安全に暮らしていただけるよう迅速な対応ができる施設を目指しています。



女性防火クラブだより

東成区

東成区女性防火クラブは、平成3年度に発足し、東成区地域振興会10連合町会の女性部長が支部長となり、家庭からの出火防止と災害による被害の軽減を図るため活動を行っております。令和2年、3年と新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、なかなか思うような活動ができませんでしたが、令和4年からは「高齢者セーフティネット強化月間」、秋・春の火災予防運動に伴う街頭広報などを実施し、少しずつですが東成区における火災や事故等の発生件数を減らす活動を行いました。

本年度は、昨年度の活動に加え、コロナ禍以前に行っていた防災施設見学

会などの活動を実施する予定です。また、東成消防署が設立した東成区高齢者防火サポーター制度にも登録し、近隣高齢者の火災からの被害を軽減することに努め、今まで以上に「災害に強い安全・安心な町 東成」へ力をあわせてまいります。



表彰

令和5年9月5日付け

救急活動(賞与)

都島消防署

2部高倉小型タンク小隊

消防司令	手嶋 康智
消防士長	山村 亮博
消防司令補	有塚 満喜
消防士長	山崎 大輝

救急活動(賞与)

北消防署

2部南森町第2救急隊

消防司令補	城川 崇
消防士長	大角 達也
消防士	城田 陸也

非番日等における火災現場での活動(賞詞)

警防部司令課

2部東方面隊

消防司令補	富木 将
-------	------

搬送中も容態変化に備えた適切な状態管理を継続し医師に引き継いだもので、早期の除細動と高度な救命処置を迅速かつ的確に実施し傷病者の救命に大きく貢献した功績による。

令和5年5月31日、天王寺区の共同住宅で発生した救急事案において、現場到着後、家人から状況を聴取しつつ観察を実施し、CPAを確認した。胸骨圧迫を実施しながらBVMによる人工呼吸を開始、併せてAEDパッドを貼付し心電図を確認したところ心室細動であったため、除細動1回目を実施。その後医師に特定行為の指示を受け、準備中に再度心室細動を実施した。開口困難のためBVMによる換気を継続し、静脈脈路確保を実施後、輸液滴下良好を確認した。再度医師に薬剤投与の指示を要請し、アドレナリンの投与を実施した。その後の効果確認で無脈静電気活動の波形を確認したため、胸骨圧迫と人工呼吸のみ継続。搬送開始後には自発呼吸と自己心拍の再開を確認し、適切な状態管理を継続した上で医師に引き継いだもので、早期の除細動と高度な救命処置を迅速かつ的確に実施し、傷病者の救命に大きく貢献した功績による。

令和5年5月1日、北区の共同住宅の敷地内で発生した救急事案において、救命連携活動隊として出場。現場到着後、バイスタンダーが実施していた胸骨圧迫を引き継ぐとともに情報収集を行い、直ちに観察を行いCPAであることを確認したため、除細動パッドを貼付。解析を行うと、除細動適応であったため、時期を逸することなく除細動を実施し胸骨圧迫を継続した。2回目の解析においても除細動適応であったため再び除細動を実施した。救急隊到着後は車内収容作業にも協力し、車内収容後には心拍の再開を認めたものの、早期の除細動と絶え間なく質の高いCPRを実施したことにより、傷病者の良好な予後に大きく貢献した功績による。

令和5年5月1日、北区の共同住宅の敷地内で発生した救急事案において、現場到着後、先着の救命連携活動隊から情報を聴取し、胸骨圧迫を実施しながら直ちに自隊のAEDに切り替え及びインハレーター付きバックバルブマスク(以下、「BVM」という。)による人工呼吸を開始した。心電図を確認したところ心室細動であったため除細動を実施。その後医師に特定行為の指示を受け、車内収容を実施。車内収容後、速やかにビデオ喉頭鏡による気管挿管を行い換気良好を確認、また静脈脈路確保を実施し、輸液滴下良好を確認した。搬送開始後は再度医師にアドレナリン投与の指示を要請し、アドレナリンの投与を実施した。その後の効果確認で総頸動脈にて脈拍を触知したため人工呼吸のみ継続実

令和5年5月2日、非番日に高速道路パーキングエリアで休憩中に400メートルほど離れた場所から黒煙を発見し、現場へ向かった。事業所敷地内において火災を確認し、延焼危険のある住宅の世帯情報、延焼拡大の恐れのあるドラム缶の内容物等の情報を収集し、到着した消防隊へ伝達した。また、火元の全周囲を確認し、消防隊が未把握の延焼危険のある建物に対する筒先誘導を実施。これら一連の行動は、方面隊員として災害対応能力を最大限に発揮し、被害を最小限に抑える他の職員の模範となる活動の功績による。

救急活動(賞与)

中央消防署

1部上町救急隊

消防司令補	古井 秀和
消防士長	増田 龍一
消防士長	黒川 光

非番日等における火災現場以外の活動(賞与)

淀川消防署

2部警防担当

消防士長	大枝 孝平
------	-------

令和5年6月13日、非番日に淀川区の新御堂筋下りにおいて発生

した交通事故に遭遇し、直ちに駆け付け被救助者の状況を確認後、付近にいた市民に協力を求めた。車両に挟まれている状況と意識レベルから、徒手にて早期の救出が必要と判断し、市民と協力し車両フロント側タイヤハウスを持ち上げ、間隙作成後愛護的に救出した。当該職員は全体の救助活動を指揮監督し、また継続的な安全管理を行うなど、全体の奉仕者である公務員として、他の模範となる活動した功績による。

救急活動(賞与)

東成消防署

1部深江小型タンク小隊

消防司令	石井 延明
消防士長	坂本 直之
消防司令補	永田 哲也
消防士	藤岡 輝

令和5年6月14日、東成区の先路上で発生した救助(集団災害)事案で、出場途上最先着が予想されることから、小隊長は車内で警戒筒先、パライト等の2次災害防止措置、高エネルギー外傷を念頭に入れた負傷者の把握を実施するよう任務分担を指示した。到着後、燃料漏れに対する2次災害防止措置を実施しつつ負傷者及び閉じ込めの有無を確認中、隊員より閉じ込め無しの車内で、CPA1名あり

の報告を受け、小隊長は直ちにネックカラーの装着と胸骨圧迫を指示した。その後、後着の救急隊が引き継ぎ CPR を1サイクル実施したところ自己心拍が再開し、救急搬送中には意識レベル2桁にまで回復した。これらの活動は、迅速かつ的確な状況判断及び観察から早期に絶え間ない胸骨圧迫を実施し、質の高い CPR を継続しながら救急隊に引き継いだことにより、傷病者の救命に大きく貢献した功績による。

火災防ぎよ活動(賞与)

平野消防署

1部平野小型タンク小隊

消防司令	納谷 雅之
消防士長	平井 大敬
消防士	鈴木 太河
消防士	伯井 翔柄

令和5年6月23日、平野区の木造共同住宅で発生した火災現場において、到着後最先着小隊として消火準備及び情報収集を直ちに実施した。後着した小隊と連携し、2線3口放水の一方攻撃他方警戒の筒先配備を実施、さらに面体着装し濃煙の中放水しながら延焼危険が大なる上階、隣室を放水するなど延焼を最小限に抑え、また施錠されている玄関の破壊を要請し的確な主火力の制圧を図った。以

上の活動は、延焼危険及び人命危険の高い木造共同住宅において出場人員を最大限に生かし、被害の拡大を最小限に阻止しており、市民の負託に応えた功績による。

指揮班としての活動(賞与)

浪速消防署

1部浪速小型タンク小隊

消防司令	和田 壮太
消防士長	森脇 淳景
消防士	吉田 一稀
消防士	中谷 玲斗

令和5年6月27日、西成区のA1ケード商店街で発生した火災現場において、第1指揮班として出場した。到着後、指揮本部長より消火隊の筒先配備の命を受け、直ちに延焼危険の大なる建物を確認し、順次筒先を配備。また、延焼危険を考慮し、シャッター破壊の指示をするなど、延焼の拡大防止に貢献し、方面隊、第2指揮班及び指揮本部と随時情報共有を図った。鎮圧後も、引き続き指揮本部にて出場隊の管理を実施し、隊の削減等小隊の整理等実施。これら一連の活動は、第1指揮班員が自らの任務を的確に遂行し、市民の財産保護に大きく寄与した活動功績による。

救急活動(賞与)

平野消防署

1部長吉指定消防隊

消防司令	下村 一夫
消防士長	河原 裕
消防士	竹綱 都生
消防士	森山 隆己

令和5年6月27日、平野区の共同住宅で発生した救急事案に救命連携活動隊として出場。現場到着後、家人が実施していた胸骨圧迫を引き継ぐとともに情報収集を行い、直ちに観察を行いCPAであることを確認したため、BVMによる人工呼吸を実施しつつ、除細動パッドを貼付。解析を行うと、除細動適応であったため、時期を逸することなく除細動を実施し胸骨圧迫及びBVMによる人工呼吸を継続した。2回目の解析においても除細動適応であったため再び除細動を実施した。救急隊到着後、車内収容作業にも協力し、車内収容後には心拍の再開を認めたもので、早期の除細動と絶え間なく質の高い CPR を実施したことにより、傷病者の良好な予後に大きく貢献した功績による。

救急活動(賞与)

平野消防署

2部平野第2救急隊

消防司令補 梶谷 雄貴
 消防士長 島本 一
 消防士 鎌田 涼

令和5年6月27日、平野区の共同住宅で発生した救急事案に出席。現場到着後、先着の救命連携活動隊より情報を収集し、並行して自隊の除細動パッドに貼り換え心電図を確認。解析を行うと、除細動非適応であったため、観察を実施。総頸動脈で脈拍を触知するも、下顎呼吸であり有効な呼吸ではないと判断。時期を逸することなくラリングルチューブサクション（気道確保器具）による特定行為を実施した。車内へ搬出中も補助換気を実施していると自発呼吸を確認。車内収容後も補助換気及び状態悪化に備えた資器材を準備し、医師に引き継いだもので、傷病者の良好な予後に大きく貢献した功績による。

救急活動(賞与)

大正消防署

2部泉尾第2小型タンク小隊

消防司令補 濱田謙太郎
 消防士長 石井 潤一
 消防士長 山崎 篤
 消防士長 米塚 雅浩

令和5年7月2日、大正区の一
 般住宅で発生した救急事案に救命

連携活動隊として出場。現場到着後、家人が実施していた胸骨圧迫を引き継ぐとともに情報収集を行い、直ちに観察を行いCPAであることを確認したため、BVMによる人工呼吸を実施しつつ、除細動パッドを貼付。解析を行うと、除細動適応であったため、時期を逸することなく除細動を実施し胸骨圧迫及びBVMによる人工呼吸を継続した。CPRを継続中に救急隊到着、この際救急隊により自発呼吸及び心拍の再開を確認。その後車内収容作業にも協力し、早期の除細動と絶え間なく質の高いCPRを実施したことにより、傷病者の良好な予後に大きく貢献した功績による。

火災防ぎよ活動(賞与)

都島消防署

2部都島小型タンク小隊

消防司令 岡本 英樹
 消防士長 益田 保
 消防士長 畑中 隆徳
 消防士長 山崎 大輝

令和5年7月19日、都島区の特
 定密集地域で発生した火災現場に
 おいて、災害点が2度修正される
 中、消防隊として現場に先着した。
 北側建物の延焼危険が大であった
 ため、北側の延焼阻止及び東側よ
 り屋内進入する救助隊の援護注水
 をするため、1線2口の放水体制

をとった。本件は東を除く3方向
 に延焼危険のある面火災であり、
 小隊長は後着の小隊に延焼危険の
 大なる北面の2階に筒先配備を依
 頼し、主火力制圧のため東側より
 屋内進入を継続した。以上の時期
 を逸することなく実施された多口
 放水、屋内進入、延焼阻止の筒先
 配備は被害の拡大を最小限に阻止
 しており、市民が消防に対する期
 待に応えた功績による。

局是記章 強実章

第51回全国消防救助技術大会
 陸上の部ロープ応用登はん第1位

大正消防署 2部警防担当

消防司令補 一村 俊介
 消防士長 長瀬 彬



※所属・階級は表彰時の
 令和5年9月現在のものです

～前号からの続き～
 前号では、予防課が分析した令和4年中に発生した建物火災のうち、消防法でいう消防用設備等の設置又は防火管理について規制を受ける対象物（以下「規制対象物」という。）の火災発生状況を、火災発生時における避難、防火管理者の選任状況、初期消火活動の状況等で見てきました。今月号では、火災発生時における消防用設備等の使用（作動）状況を見ていきます。

消防用設備等の使用(作動)状況等

■消火設備

1. 消火器の使用状況

規制対象物の火災380件のうち、出火ときに消火器が設置されていた対象物での火災は372件でした。そのうち消火器を使用した火災は110件あり、完全消火又は延焼阻止できたものが84件で、消火器を使用した火災の76.4%でした。また、使用したものの効果がなかった火災は26件（23.6%）あり、その理由は《表1》のとおりでした。

一方、消火器を使用しなかった火災は270件で、そのうち消火の必要があったが使用しなかった火災は128件あり、その内訳は《表2》のとおりでした。なお、自然鎮火等の理由により消火器による消火を必要としなかったものが142件でした。

2. 屋内消火栓設備の使用状況

規制対象物の火災380件のうち、出火ときに屋内消火栓設備が設置されていた対象物での火災は81件あり、そのうち屋内消火栓設備が使用されたものは4件（4.9%）でした。

屋内消火栓設備を使用しなかった火災は77件（95.1%）あり、そのうち46件は火災が小規模等であったため同設備を使用しませんでした。

一方、消火の必要はあったが使用しなかった火災は31件あり、その内訳は《表3》のとおりでした。

表1

有効に消火剤がかからなかった	5 件
多量の可燃物に着火後急激に拡大	4 件
消火困難場所に延焼又は出火	3 件
濃煙が充満していた	3 件
発見が遅れた	3 件
危険物に着火後急激に拡大した	2 件
消火器が放射されなかった	1 件
ダクト内に延焼し又は出火した	1 件
天井裏に延焼し又は出火した	1 件
他の人に火災を通報中拡大した	1 件
不詳	1 件
その他	1 件
合 計	26 件

表2

避難に重点をおいた	20 件
施錠のため室内進入不能	17 件
濃煙が充満していた	15 件
無人又は不在だった	8 件
発見が遅れた	7 件
出火箇所がわからなかった	5 件
出火場所がわからなかった	4 件
施錠のため建物内への進入不能	4 件
あわてていて消火できなかった	4 件
通報している間に拡大した	3 件
多量の可燃物に着火後急激に拡大	3 件
消火方法がわからなかった	3 件
感電・爆発等の危険を感じた	2 件
消火困難場所に延焼又は拡大	2 件
死傷した(他に人がいない)	2 件
消火設備がなかった・義務なし	1 件
消火設備の設置場所がわからず	1 件
消火設備の設置を知らなかった	1 件
天井裏に延焼し又は出火した	1 件
壁内に延焼し又は出火した	1 件
不詳	7 件
その他	17 件
合 計	128 件

表3

濃煙が充満していた	6 件
発見が遅れた	3 件
消火困難場所に延焼又は出火	2 件
施錠のため建物内への進入不能	2 件
感電・爆発等の危険を感じた	1 件
危険物に着火後急激に拡大した	1 件
消火方法がわからなかった	1 件
出火箇所がわからなかった	1 件
出火場所がわからなかった	1 件
施錠のため室内進入不能	1 件
通報している間に拡大した	1 件
避難に重点をおいた	1 件
不適応消火用具を使用した	1 件
無人又は不在だった	1 件
その他	8 件
合 計	31 件

3. スプリンクラー設備の作動状況

規制対象物の火災380件のうち、出火時にスプリンクラー設備が設置されていた対象物での火災は42件あり、そのうち5件(11.9%)で作動し、作動した火災のうち1件は、多数の可燃物に着火し、急激に燃焼拡大したため消火困難でした。一方、作動しなかった火災は37件(88.1%)あり、作動しなかった理由は、自然鎮火したものの、スプリンクラー設備が作動するほど火災が拡大しなかったもの及び出火箇所がスプリンクラーヘッド不要の場所であったため作動しなかったものでした。

■警報設備

1. 自動火災報知設備の作動状況と効果

規制対象物の火災380件のうち、出火時に自動火災報知設備が設置されていた対象物での火災は284件でした。そのうち185件(65.1%)で自動火災報知設備が作動し、初期消火や通報、避難を促す等、所期の目的を達成しました。

一方、作動しなかった火災は99件(34.9%)で、そのうち火災が小規模等の理由により作動に至らなかったものが46件、法定警戒不要部分での出火が10件、不詳・その他が43件でした。

なお、火災の発生した規制対象物の1件あたりの焼損床面積と比較すると、設置済みが3.7㎡、未設置が8.0㎡であり、およそ2.2倍の差が見られました。

2. 非常警報設備・器具の使用状況と効果

規制対象物の火災380件のうち、出火時に非常警報設備又は器具の設置されていた対象物での火災は89件でした。そのうち10件(11.2%)で非常警報設備又は器具が使用され、通報や避難を促す等、所期の目的を達成しました。

一方、使用しなかった火災は79件(88.8%)でした。

■火災予防対策(まとめ)

規制対象物での出火原因は、1位が「たばこ」、2位が「電気製品」、3位が「天ぷら油」、4位が「電気配線類」、5位が「放火」という結果となりました。

また、「たばこ」、「天ぷら油」、「ガスコンロ」、「電気製品」及び「電気配線類」による火災については共同住宅等での出火が大半を占めており、住宅火災の危険性やその対策について住民に対し幅広く広報を行う必要があります。特に自動火災報知設備の設置義務のない共同住宅等にあつては、住宅用火災警報器の設置と適切な維持管理の促進を主眼とした火災予防啓発を行う必要があります。

火災の発生や被害の程度については、防火管理と深い関係があります。平成13年9月に多数の死傷者が出た新宿区歌舞伎町の雑居ビル火災では、被害が大きくなった要因として、避難階段に多くの物品が置かれていたため、急激に燃焼拡大し避難が困難だった等、防火管理が適正に行われていなかったことが考えられています。防火管理が適正に行われている対象物は、階段・通路及び消防用設備等の維持管理が図られているだけでなく、防火に対する意識も高いと考えられています。

消防訓練と初期消火活動について、過去1年以内に消防訓練を実施した対象物と、過去1年間実施していない対象物を比べると、消防訓練を実施した対象物の方が初期消火の実施率が高く、焼損床面積は実施していない対象物の約27%となっているため、今後も立入検査や消防訓練指導等の機会を通じて、関係者に対し消防訓練や初期消火活動の重要性を伝えていく必要があります。

火災発生初期の段階で消防用設備等が適切に作動し、活用されることにより、焼損床面積及び損害額が小さくとどめられています。一方で消防用設備等の使用方法がわからなかった、消火設備の設置場所がわからなかった等、消防用設備等に対する関心が低いと、火災発生初期に適切な行動ができないおそれがあります。

消防用設備等を万一の場合に確実に作動させ又は使用するためには日常の点検をはじめ、定期的な外観点検及び機能点検の実施が重要です。立入検査や消防訓練指導等を通じて消防用設備等の効果や操作方法を啓発するとともに、維持管理等について不十分な対象物に対しては早期の改善を促す必要があります。



Another Voice

- こちらは指令情報センターです -

庁舎内に流れる出場指令や警防情報音声など、声を聞いたことはあるけど、どんな業務をしているのかなんとなくしか知らないな…、あんまり関わりない興味はあるけど聞きにくいな…。そんな指令情報センター業務に対する疑問や質問などにざっくばらんに回答し、指令情報センターをさらに理解していただくため「Another Voice」を掲載します。

指令情報センターを身近に感じていただき、協力しながらよりよい現場活動に繋げていきたいと思ひます。

「指令情報センターの役割」
公式 YouTube にて
放映中！



Vol.2

- 指令情報センター員の任務分担について -



消平 西本 消平

災害現場では、消火隊、救助隊、救急隊とそれぞれ任務を分担して活動しますが、指令情報センターの係員もそれぞれ任務が決められているのですか？

西本 いい質問やな。災害現場では中隊長指揮の下、各隊が情報共有して活動しているやろ。実は、指令情報センターでも班長の指揮により、任務分担して対応してんねん。

消平 そうなんですね。何人くらいの方がいて、『このような任務があるのか』教えてください！



司令課担当係長(指令管制)
西本 隆史



消平

仕事とプライベートの両立(二刀流)を目指す期待の大型新人

西本 消平 西本 消平 西本

上の図が指令情報センターの席図で、大型マルチディスプレイを正面にして、11席あり、昼間帯は8人勤務。任務は次のとおりやで。

*2、3、4席
1 着信受付から出場指令を行う任務で消防署に置き換えれば隊員の存在。

*5席
救急管制といって救急隊の動態管理や救急無線の発信等を行いながら他席の着信も聞いてダブルエックと助言をする小隊長的な存在。

*9席
無線担当で無線指令や消防隊との発信を主に担当。

*8席
無線補助と増強部隊の指令を主に担当。

*10席(班長)
班長で管制内の責任者。各席の着信を聞いてトリプルエックしながら管制内を指揮する。いわば中隊長的な存在。

*11席
班長を多岐にわたって補佐。

全然知らなかった。こんなに任務が分かれているんですね。こんなに分かれていると情報共有とかお互いの連携が難しくそですね？

西本 そのとおり。だから大型マルチディスプレイの画面を元に正確に耳で聞きとり、確実に口で伝え、お互いの目を見る。人間の持つている『感覚を研ぎ澄ませて』連携を図ってんねんで。管制内は市民の助けを求めるといって災害現場の最前線！活動に必要な情報をとって、出場している消防センター員は、頭を冷静にして、できる限りの情報を聞くこと奮闘してんねんで。

消平 通報が入った時点で、消防の災害活動が始まっているんですね。

西本 指令の内容や無線の情報をしっかりと聞いて、情報共有して現場活動に活かせるよう心がけます。

消平 緊急走行中や現場活動中は作業をしながらで、無線情報を聞き流してしまうことがあると思うけど、無線情報や指揮者の指示は大切なことを伝達してるから『情報を取りこぼさず、聞くこと』という意志を持って『情報』をお互いが共有するってことで生かされるもの。

消平 も日頃から意識しててな。



昇任試験問題研究所

Vol.39



ここは、大阪市内某所にある研究施設。日々、大阪市消防局の昇任試験問題の研究が行われている。主席研究員“九条みなみ”は、今日も後輩研究員たちの指導に余念がないのだった…。

第39話 ～調査はじめ！②～

みなみ：さあ、今月も「警防(調査)」を研究するわよ♥それじゃあ始めるわ。

第1問

消防法第34条に規定する「資料提出命令、報告の徴収及び消防職員の立入検査」について記述してください。(10点)

第34条 消防長又は消防署長は、前条の規定により調査をするために必要があるときは、関係者に対し必要資料の提出を命じ、若しくは報告を求め、又は当該消防職員に關係のある場所に入つて、火災により破損された破産された財産の状況を検査させることができる。
第4条第1項ただし書及び第2項から第4項までの規定は、前項の場合にこれを準用する。

【解答】

みなみ：消防法第34条第1項の「前条の規定による調査」とは「火災による被害財産の調査」のことよ。第2項は、消防法第4条に定める立入検査に係る個人の住居への立ち入りや証票の携帯等の規定を準用することが定められているわ。

第2問

火災原因調査要綱第36条に規定する「出火原因決定区分」について、次の(1)、(2)の間に答えてください。(10点)

第36条 出火原因を決定するにあたっては、(①)、(②)及び(③)を明らかにし、その調査資料の多寡によって出火原因を次に掲げる3段階に区分しなければならない。

- (1) (①)～(③)にあてはまる適切な語句を解答欄に記入してください。
- (2) 下線部の「3段階」には「断定」、「推定」、「不明」があるが、「推定」について記述してください。

断定するに至らないが、当該資料を基礎として専門的立場から合理的にその原因が推測できるもの。

- (1) ①発火源 ②経過 ③着火物
- (2) 推定

【解答】(1)は各2点①②③順不同、(2)は4点

みなみ：「出火原因決定区分」に関する問題は頻出されているので必ず押さえておくこと。

- (1) 断定 各資料の証明力を総合することにより、全く疑う余地がなく極めて具体的かつ科学的にその原因が決定され、少しの推理も必要としないもの。
 - (2) 推定 断定するに至らないが、当該資料を基礎として専門的立場から合理的にその原因が推測できるもの。
 - (3) 不明 原因を決定するための資料が全くないとき、又は若干の資料があっても、それらの資料の証明力が極めて少なく、これに多少の推理を加えてもその原因を合理的に推測できないもの。
- (火災原因調査要綱第36条)



どうだった？火災原因調査に関する問題は職務上でも必要な知識なんだから、しっかりと覚えておかないとダメよ♥さあ、いよいよ昇任試験。頑張ってね。

今年度はこれでお別れよ、お疲れ様♥

今月の

推しの一枚



令和5年9月1日(金)に
令和5年度大阪市消防局
総合防災訓練が行われま
した。



Facebook



X
(旧:Twitter)



Instagram



YouTube



SNSやってます

編集後記



表紙のウラ側

令和5年9月26日(火)に
大阪府立消防学校にて第114回
初任教育に係る実科査閲が行わ
れました。
その様子は、来月号でお伝え
します。

夏の厳しい暑さもようやく和らぎ、過ごしやすい毎日がやってきた。最近、酷暑の反動で「夏バテ」のあとにやってくる「秋バテ」という言葉もあるそう。夏が終わって過ごしやすくなるはずなのに、なんだか疲れている感じがするのは「秋バテ」だったのか、と名前がついたことで不思議と安心し、どう対策を講じようかと模索中。考えているうちに、秋が終わりそうだけど…。風の心地よい秋が終わる前に、秋の味覚、紅葉狩り、と秋を満喫して「秋バテ」を乗り切りたい。(T)

大阪消防

令和5年11月号 第74巻第11号 通巻第884号

発行	大阪消防清風会	編集	大阪市消防局企画部企画課内大阪消防編集部
企画・監修	大阪市消防局		〒550-8566 大阪市西区九条南1-12-54
年間購読料	年間 5,280 円 (消費税・送本手数料含む)	TEL	06-4393-6036
		FAX	06-4393-5120
制作・販売	株式会社サイネックス	Eメール	pa0110@city.osaka.lg.jp

※本誌に掲載されている内容の転載、転用を希望される時は、編集部までご連絡ください。





まかせて安心！ 完全サポート

ISO 9001認証取得

本社・大阪支社

総合防災設備

設備
工事

保守
点検

消防
用品

真弓興業株式会社

各種消防資機材

本社 〒590-0975 堺市堺区大浜中町2-1-25

TEL:072(221)8188 FAX:072(223)4475

大阪支社/梅田 TEL:06(6373)9331

関空支社・神戸支社・東京支社・中国支社



<https://mayumi.co.jp>

火の用心

(令和5年度大阪市防火標語 作者 川崎梓さん)



いのち輝く
未来を守ろう

デザイン協力



大阪市消防局

助かる力、助ける力を学ぼう！
大阪市立阿倍野防災センター
あべのタスカル



COSMOS

もっと早く、火災を見つける。

従来の火災警報器に一酸化炭素(CO)センサをプラスして、火災をより早くおしらせ!

消防庁「住宅用火災警報器設置・維持管理対策基本方針」における「火災以外の異常を感じて警報する機能を併せ持つ住警器」に該当します



PLUSCO

プラシオ

CO 反応式	一酸化炭素検知機能付き	SC-735
	火災警報器	SC-335

特長

業界初!

- 一酸化炭素を検知すると、煙感度を「2種→1種」に高める「CO反応式」
- 熱中症/乾燥をおしらせ[SC-735のみ]
- 総務大臣認可 特例基準検定品
- 住宅用防災警報器検定合格品
- 一般財団法人日本ガス機器検査協会検査合格品
- 電池寿命10年
- 日本製



新コスモス電機株式会社
www.new-cosmos.co.jp

商品情報はこちら



新コスモス電機 プラシオ 検索

本社 ■〒532-0036大阪市淀川区三津屋中2-5-4
TEL (06) 7668-2316



鳥よしグループ

ご宴会から二次会まで おまかせ下さい!

大阪 ミナミなら

都心の
ご宴会処 **鳥よし本店**

電話 (06) 6643-1230

大阪府中央区千日前 2-7-16
千日前交番裏 30m

歓送迎会、同窓会他
各種ご宴会承ります!



大阪 キタなら

ご晩酌・
ご宴会処 **鳥よし茶屋**

電話 (06) 6365-0010

大阪府北区曾根崎 2-1-9
梅新お初天神(露天神社)
正門出て左へ30m

二次会 なら...

グランドラウンジ	大阪府中央区千日前 2-7-16
ミス大阪	電話 (06) 6643-1210
ヤングラウンジ	大阪府中央区千日前 2-8-5
ザ・フレッシュ	電話 (06) 6644-1313

ナイトラウンジ	大阪府中央区千日前 2-8-5
ミスパール	電話 (06) 6643-1220
ミスパール	大阪府中央区千日前 2-8-5
昼ラウンジ	電話 (06) 6643-1220



鳥よしグループ 本社

大阪興業株式会社
鳥よし共栄株式会社

〒542-0074 大阪府中央区千日前 2-7-16
電話 (06) 6643-2233・6644-1044